

平成 23 年 度

川 越 市 の 教 育



川越市教育委員会



川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きること誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りがたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。



目 次

は じ め に	1
教 育 行 財 政	2
教育委員会委員紹介	2
川越市教育振興基本計画	3
平成23年度教育行政の方針と重点	6
事務局組織の主な事務と教育機関	9
教 育 財 政	11
平成23年度並びに平成22年度教育費当初予算（歳出）	12
学 校 教 育	15
学 校 一 覧	15
学校施設の現況	17
児童生徒数と今後の推移	21
幼 稚 園 一 覧	24
教育センターの概要	25
委嘱学校研究等一覧	29
教育相談事業の概要	30
特別支援教育の概要	33
情報教育の概要	34
英語指導助手配置事業の概要	35
校種間連携教育の概要	36
各種事業の概要	37
学 校 保 健	39
児童・生徒の体位	41
児童・生徒の「新体力テスト」平均値	42
学 校 給 食	43
社 会 教 育	46
社会教育の充実	46
公 民 館	51
図書館（視聴覚ライブラリー）	53
博 物 館	55
川越城本丸御殿保存修理工事	57
学 童 保 育	59
文 化 財 保 護	60
文化財の保存	60
文化財の活用	62
新指定文化財	62
国指定史跡「河越館跡」	64
資 料	66
教育施設配置図	69

表紙写真について

川越城本丸御殿（県指定文化財）

川越城は長禄元年（1457）扇谷上杉持朝の命により、太田道真・道灌父子らによって築かれた。現在残されている本丸御殿は、松平齊典が城主であった嘉永元年（1848）に建てられたもので、国内に2例のみ残る本丸御殿である。平成20年10月から約2年半の歳月をかけて、保存修理工事を実施し、平成23年3月26日から再公開している。

は じ め に

この度、3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、甚大な被害を受けられた被災地の皆様に心からお見舞い申し上げます。

川越市教育委員会といたしましても、教育関係者及び地域の方々と協力し被災された皆様への支援をしてまいります。

さて、川越市教育委員会では、少子高齢化、国際化、人々の価値観の多様化など教育を取り巻く環境の変化に対応するため、これまで、第三次川越市総合計画の施策の基本目標である「学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち」の実現に向け、毎年度、「教育行政の方針と重点」を定め、施策の推進に努めております。

こうした中、改正された教育基本法第17条では、国に教育の振興に関する施策の総合的な計画を策定することを義務付け、地方公共団体においては、地域の実情に応じた教育の振興に関する計画を策定するよう努めなければならないとされております。

このため、本市では、平成23年2月に「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念とした「川越市教育振興基本計画」を策定いたしました。

この計画において、「時代を担いたくましく生きる児童生徒の育成」「ふれあいと思いやりのある地域社会の実現」「心豊かで生きがいを持てる市民社会の実現」の3つの教育目標を定め、この目標に基づいて次の5つの方向性を示しました。

- 1 生きる力を育む学校教育の推進
- 2 活力ある地域を創る生涯学習の推進
- 3 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
- 4 多文化共生と国際交流・協力の推進
- 5 生涯スポーツの推進

今後は、将来の川越を担う子どもたちが、知・徳・体のバランスがとれた力と、自立して社会で生きていく基礎を身につけられるよう、この計画に掲げた5つの方向性を基に様々な施策に取り組んでまいります。

さらに、学校・家庭・地域が連携を強め、地域ぐるみで子どもたちの生きる力を推進するとともに、社会教育の充実を図るため、市民の学習環境や機会の整備を推進してまいります。

本冊子は、平成23年度における本市の教育行政及び各教育機関の諸活動の概要をとりまとめたものです。

皆様におかれましては、本冊子により本市教育への認識をより一層深めていただき、「生きる力と学びを育む川越市の教育」の実現に向けてご協力いただきますようお願い申し上げます。

川越市教育委員会

教育委員会委員紹介



委員長
星野明徳



委員長職務代理者
長谷川均



委員
後藤佳子



委員
梶川牧子



教育長
新井孝次

川越市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育に関する事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関です。5人の教育委員で組織され、そのうち1人が委員長として教育委員の互選により選出され、会議を主宰し、教育委員会を代表します。さらに、委員長を除く教育委員の中から、教育長が教育委員会により任命され、教育委員会の権限に属する事務をつかさどります。その事務を処理、執行するための組織として事務局が設置されています。

委員・教育長

職 名	氏 名	現 任 期
委員長	ほし の あき のり 徳 星 野 明 徳	平成21年4月1日～平成25年3月31日
委員長職務代理者	は せ がわ ひとし 長 谷 川 均	平成21年4月1日～平成25年3月31日
委員	ご とう よし こ 後 藤 佳 子	平成21年4月1日～平成25年3月31日
委員	かじ かわ まき こ 梶 川 牧 子	平成22年12月28日～平成26年12月27日
教育長	あら い こう じ 次 新 井 孝 次	平成21年4月1日～平成25年3月31日

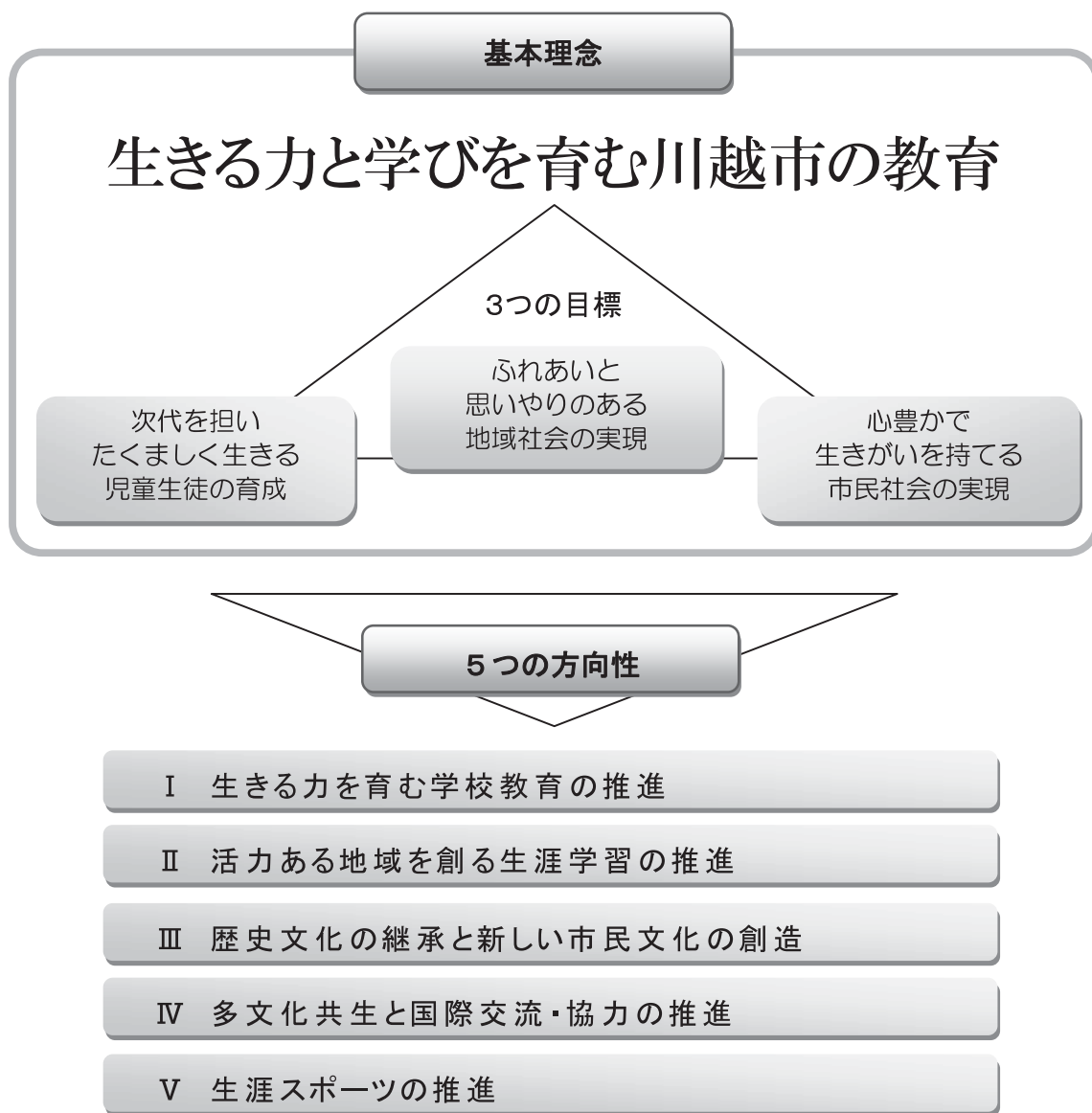
会議の開催状況（平成22年度）

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
定 例 会	1	1	1	1	2	1		1	1	1	1	1	12
臨 時 会 協 議 会									2				2

川越市教育振興基本計画

「川越市教育振興基本計画」は、本市の教育振興のために必要な施策を、総合的かつ計画的に推進するために策定しました。

1. 計画の全体像



2. 計画の期間

本計画の計画期間は、平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5年間とします。

3. 施策体系

◎印は計画期間内に重点的に取り組む施策です。

方向性Ⅰ－生きる力を育む学校教育の推進

施策	施策の柱	細施策
1 生きる力と豊かな人間性を育む教育の推進	◎(1)確かな学力の育成	①学力向上対策の推進 ②市独自の少人数学級編制の推進
	(2)教育に関する3つの達成目標の推進	①学力(読む・書く・計算)向上の推進 ②規律ある態度の育成 ③体力向上の推進
	◎(3)校種間連携の推進	①小学校・中学校連携の推進 ②中学校・市立川越高等学校連携の推進 ③幼稚園・保育園・小学校連携の推進
	(4)生徒指導の充実	①道徳教育の充実 ②いじめ・不登校対策の推進 ③教育相談の充実 ④関係機関との連携事業 ⑤いきいき登校サポートプランの推進
	(5)進路指導・キャリア教育の充実	①地域・関係機関と連携した社会体験活動の充実
	(6)科学体験活動の推進	①科学わくわくラーニングプログラム事業の推進
	(7)地域に開かれた特色ある学校づくりの推進	①学校評議員制度の充実 ②地域人材活用事業の充実 ③日本語指導ボランティアの充実
	◎(8)教職員の資質向上	①経験・職能別研修の充実 ②管理職等研修の充実 ③奨励研修の充実 ④かわごえ異業種体験研修事業の推進 ⑤大学等進学指導力向上研修の推進
	(9)特別支援教育の充実	①就学支援委員会の充実 ②一人ひとりのニーズに応じた指導や支援の充実 ③特別支援教育の理解・啓発の推進 ④市立特別支援学校のセンター的機能の充実
	(10)英語教育・外国語(英語)活動及び国際理解教育の推進	①英語指導助手(AET)の配置事業の充実 ②小学校外国語活動の推進 ③中学校英語教育の充実 ④国際理解教育の推進
	(11)情報教育の推進	①ICT教育の推進 ②情報モラル教育の推進 ③コンピュータ施設・設備の充実と活用
	(12)読書活動の推進	①読書活動啓発推進事業 ②図書館司書による読書活動の推進 ③図書館から学校への団体貸出の推進
	(13)健康の保持増進と安全・体力向上の推進	①学校保健活動の推進 ②安全・安心の推進 ③体力向上の推進
	(14)学校の評価充実	①人事評価の充実 ②学校評価の充実
2 安全・安心で質の高い教育を支える教育環境の整備・充実	◎(1)学校施設の整備・充実	①学校施設の耐震化の推進 ②大規模改造工事等学校施設の整備の推進
	(2)小・中学校の適正配置と通学区域の弾力化	①小・中学校の通学区域・規模等の検討
	(3)学校図書館の充実	①司書教諭・図書整理員の配置 ②蔵書の充実
	◎(4)学校給食の充実	①食育の推進 ②給食内容の充実 ③学校給食施設の整備
	(5)市立川越高等学校の改革・充実	①市立川越高等学校将来構想の検討と推進
	(6)教育センターの充実	①教育センターの整備・開放の充実 ②家庭・地域との連携研修の充実

方向性Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

施策	施策の柱	細施策
1 家庭・地域の教育力の向上	(1)家庭への支援	①家庭教育の充実 ②学童保育の充実
	◎(2)地域の教育力の向上	①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備 ②学びを支援するシステムの整備 ③社会教育関係団体への支援
2 生涯にわたる学習活動の推進	◎(1)生涯学習推進体制の確立	①生涯学習推進のための拠点施設設置 ②社会教育職員研修の充実
	(2)多様な学習機会の創設	①学習情報の提供システム整備 ②生涯学習に関する意識調査の実施 ③町内公民館講座の開設支援
	(3)社会の変化に応じた学習機会の提供	①ライフステージにおける課題の学習 ②現代的課題の学習 ③地域の教育活動を支援
	(4)人権教育の充実	①学校教育における人権教育推進事業 ②人権啓発活動の推進 ③人権教育指導者の養成 ④関係機関・団体等との連携
3 生涯学習環境の整備・充実	◎(1)身近な学習施設としての公民館の整備・充実	①公民館の設置 ②既存公民館の整備・充実
	(2)図書館サービス網の整備・充実	①図書館サービス網の充実 ②図書館資料・情報提供サービス機能の充実 ③図書館を活用した学習活動の推進
	◎(3)博物館の整備・充実	①展示機能の充実 ②郷土資料の収集・保存 ③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化 ④博物館・蔵造り資料館の整備
	(4)高等教育機関等との連携・協働の推進	①川越シティカレッジの開催 ②大学と連携した人材の育成

方向性Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

施策	施策の柱	細施策
1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用	①文化財の保護と活用 ②文化財保護意識の啓発 ③民俗文化財の保存と後継者の育成 ④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 ⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業 ⑥河越館跡地等の整備・活用
	◎(2)川越らしい文化芸術の振興	①連携・協働による新たな文化芸術の創造 ②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり ③特色ある文化芸術拠点の整備
	(3)文化芸術に触れる機会づくり	①文化芸術が身近にある環境づくり ②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり
	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進	①文化芸術活動への支援 ②文化芸術活動の場の整備 ③文化交流の促進

方向性Ⅳ－多文化共生と国際交流・協力の推進

施策	施策の柱	細施策
1 多文化共生と国際交流・協力の推進	(1)行政の国際化	①共生意識を醸成するための相互理解の推進 ②留学生の支援
	◎(2)国際感覚に優れた市民の育成	①人材の開発と育成 ②NGOなどとの協力と連携 ③地域の国際化推進体制の整備
	(3)姉妹都市交流の更なる充実	①川越市姉妹都市交流委員会への支援強化 ②新しい地域、都市との交流創出

方向性Ⅴ－生涯スポーツの推進

施策	施策の柱	細施策
1 生涯スポーツの推進	(1)スポーツ活動の推進	①総合型地域スポーツクラブの設置・育成 ②スポーツ教室・大会等の充実
	◎(2)スポーツ環境基盤整備	①スポーツ指導者等の養成・活用 ②スポーツ施設等の整備・充実

平成23年度教育行政の方針と重点

近年の社会状況は、少子高齢化、国際化、情報化、環境問題など、急激に変化しております。教育分野においても学校におけるいじめ・不登校や非行問題行動、学ぶ意欲の低下、家庭や地域の教育力の低下などさまざまな問題が生じております。

このような状況により、国は教育の在り方を根本にまでさかのぼって見直すことが必要であるとして、「21世紀を切り拓く、心豊かでたくましい日本人の育成」を目指した教育改革を進めていくため、平成18年12月に約60年ぶりとなる教育基本法の改正を行い、平成20年7月には「教育振興基本計画」を策定しました。

こうした国の動向を受け、川越市と川越市教育委員会では、改正された教育基本法の理念に基づき、平成23年2月に川越市教育振興基本計画を策定し、本市の教育の方向性を明確にすることといたしました。

平成23年度は同計画の初年度となります。本市では、この計画をより確実に推進していくため、次のとおり今年度の方針と重点を策定しました。

<方針>

川越市教育振興基本計画に定める「基本理念」と「3つの目標」を基に、教育行政を推進します。

基本理念

生きる力と学びを育む川越市の教育

3つの目標

次代を担いたくましく生きる児童生徒の育成
ふれあいと思いやりのある地域社会の実現
心豊かで生きがいを持てる市民社会の実現

<重点>

川越市教育振興基本計画の「5つの方向性」を基に、重点施策を定めます。

方向性Ⅰ 「生きる力を育む学校教育の推進」

1. 確かな学力の育成
2. 校種間連携の推進
3. 生徒指導の充実
4. 教職員の資質向上
5. 学校施設の整備・充実
6. 学校給食の充実

方向性Ⅱ 「活力ある地域を創る生涯学習の推進」

1. 地域の教育力の向上
2. 生涯学習推進体制の確立
3. 身近な学習施設としての公民館の整備・充実
4. 博物館の整備・充実

方向性Ⅲ 「歴史文化の継承と新しい市民文化の創造」

1. 文化財・伝統芸能等の保存及び活用
2. 川越らしい文化芸術の振興

方向性Ⅳ 「多文化共生と国際交流・協力の推進」

1. 国際感覚に優れた市民の育成

方向性Ⅴ 「生涯スポーツの推進」

1. スポーツ活動の推進
2. スポーツ環境基盤整備

平成23年度 教育行政の重点

方向性Ⅰ 生きる力を育む学校教育の推進

- 1 確かな学力の育成
 - ①学力向上対策の推進
 - ②市独自の少人数学級編制の推進
- 2 校種間連携の推進
 - ①小学校・中学校連携の推進
 - ②中学校・市立川越高等学校連携の推進
- 3 生徒指導の充実
 - ①いじめ・不登校対策の推進
 - ②教育相談の充実
 - ③いきいき登校サポートプランの推進
- 4 教職員の資質向上
 - ①経験・職能別研修の充実
 - ②管理職等研修の充実
 - ③奨励研修の充実
 - ④かわごえ異業種体験研修事業の推進
 - ⑤大学等進学指導力向上研修の推進
- 5 学校施設の整備・充実
 - ①学校施設の耐震化の推進
 - ②大規模改造工事等学校施設の整備の推進
- 6 学校給食の充実
 - ①食育の推進
 - ②給食内容の充実
 - ③学校給食施設の整備

方向性Ⅱ 活力ある地域を創る生涯学習の推進

- 1 地域の教育力の向上
 - ①地域ぐるみ教育のためのネットワークの整備
 - ②学びを支援するシステムの整備
 - ③社会教育関係団体への支援
- 2 生涯学習推進体制の確立
 - ①生涯学習推進のための拠点施設設置

3 身近な学習施設としての公民館の整備・充実

- ①公民館の設置
- ②既存公民館の整備・充実

4 博物館の整備・充実

- ①展示機能の充実

方向性Ⅲ 歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

1 文化財・伝統芸能等の保存及び活用

- ①文化財の保護と活用

2 川越らしい文化芸術の振興

- ①連携・協働による新たな文化芸術の創造

方向性Ⅳ 多文化共生と国際交流・協力の推進

1 国際感覚に優れた市民の育成

- ①人材の開発と育成
- ②NGOなどとの協力と連携
- ③地域の国際化推進体制の整備

方向性Ⅴ 生涯スポーツの推進

1 スポーツ活動の推進

- ①スポーツ教室・大会等の充実

2 スポーツ環境基盤整備

- ①スポーツ施設等の整備・充実

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価

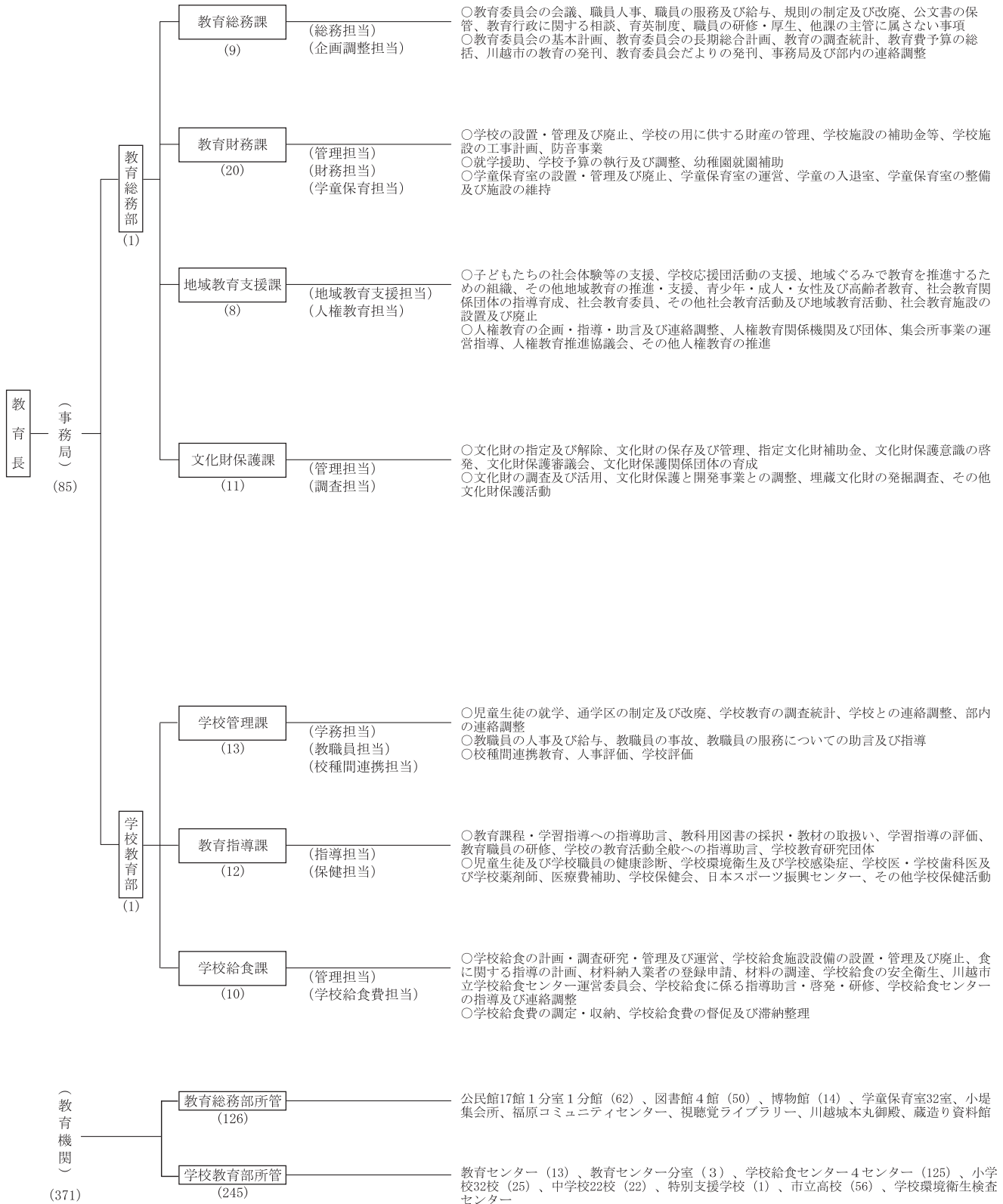
平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになった。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされた。

川越市教育委員会においても、法の趣旨に則り、平成20年度から前年度に実施した事務について点検及び評価を行っている。

平成22年度は平成21年度に実施した事業のうち、大項目5、中項目19、小項目65項目について点検・評価を行った。なお、報告書は川越市ホームページに全文を掲載し、広く市民に公表している。

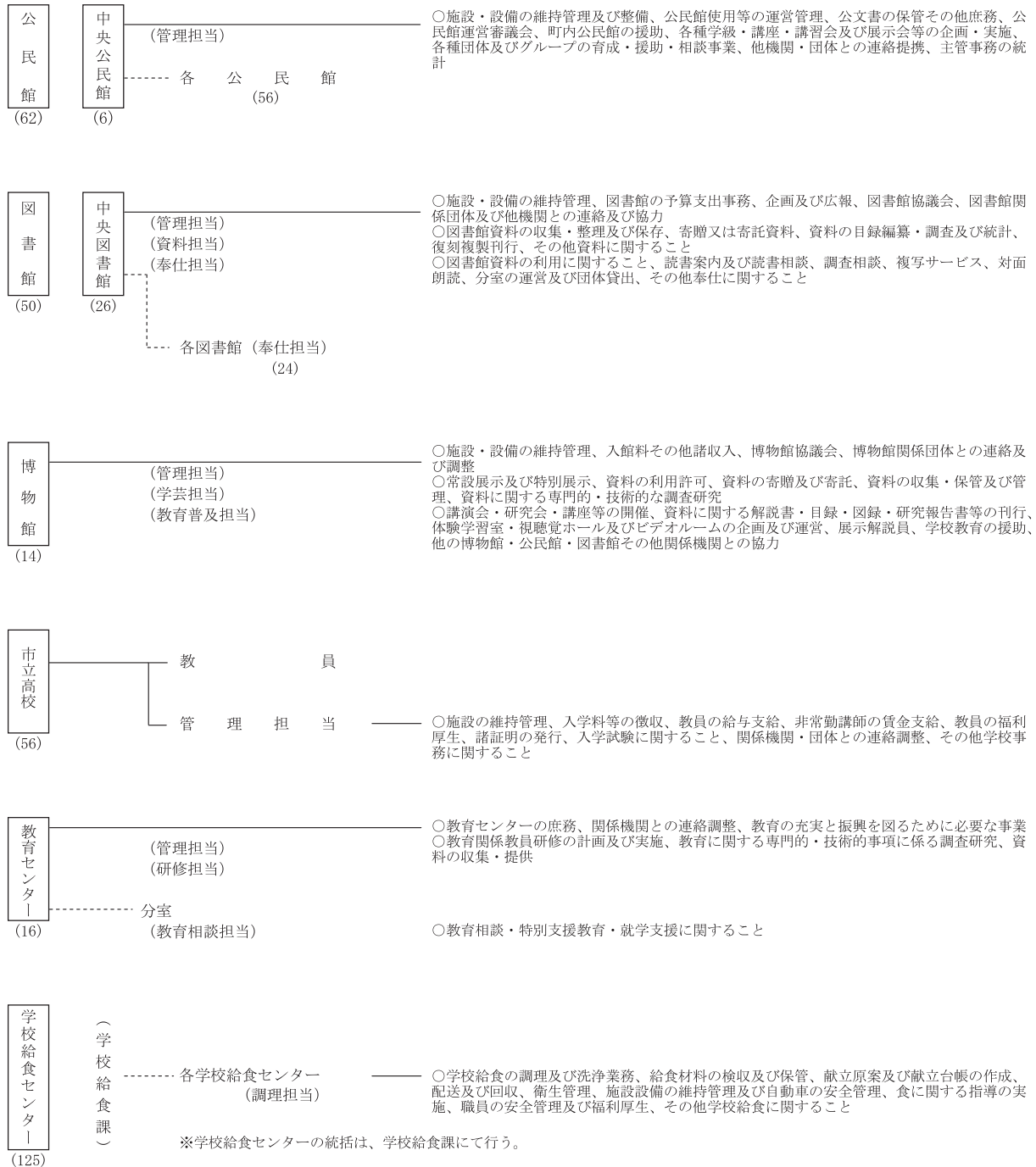
事務局組織の主な事務と教育機関

() 内は職員数



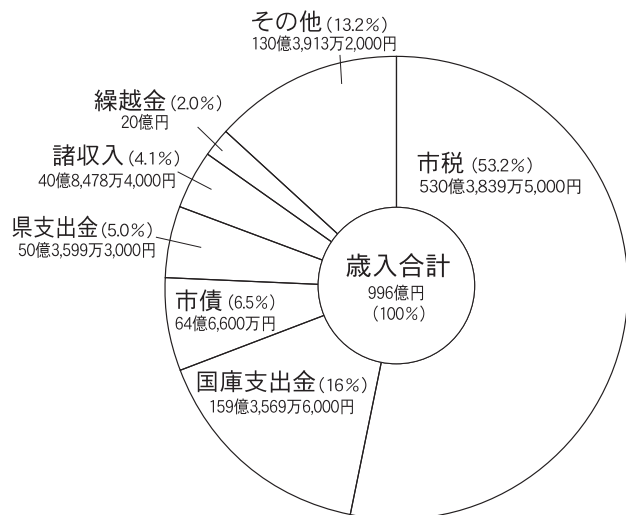
主な教育機関の組織と事務

() 内は職員数

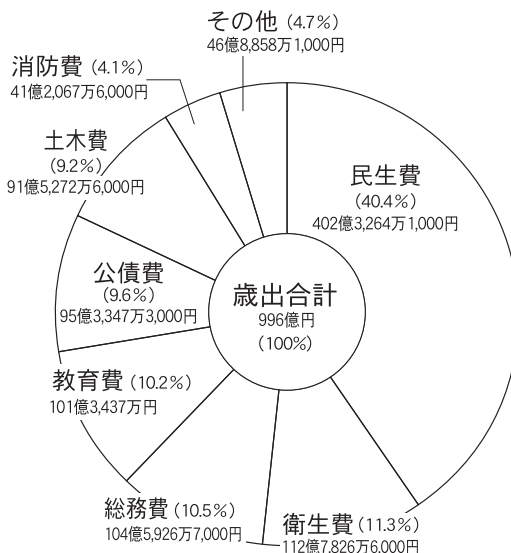


教 育 財 政

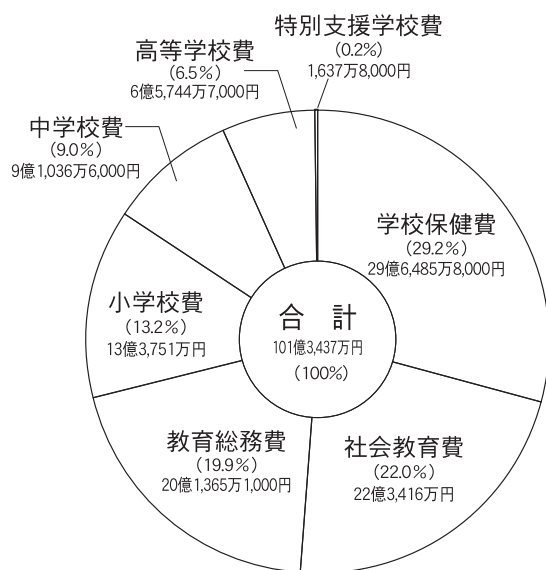
平成23年度 川越市一般会計歳入（当初予算）



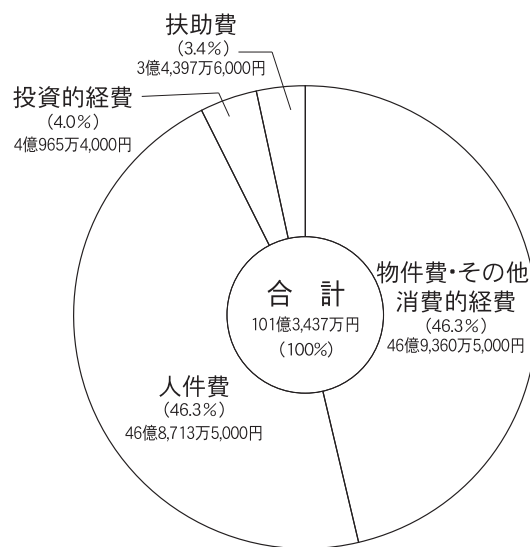
平成23年度 川越市一般会計歳出（当初予算）



平成23年度 教育費目的別当初予算の構成



平成23年度 教育費性質別当初予算の構成



平成23年度 主な事業

- 小学校耐震化推進
- 中学校耐震化推進
- 霞ヶ関北公民館整備推進
- 家庭教育の充実
- 川越・地域子どもサポート推進
- 少人数学級のための臨時講師配置
- 科学わくわくラーニングプログラム
- 英語指導助手配置事業
- さわやか相談員の配置
- 特別支援教育支援員の配置
- 教育センター施設改修

平成23年度並びに平成22年度教育費当初予算(歳出)

(単位：千円・%)

費 目		23年度当初予算	22年度当初予算	比較増減額	対前年度比率
一 般 会 計 総 額		99,600,000	94,160,000	5,440,000	5.8
教 育 費 総 額		10,134,370	10,184,868	△50,498	△0.5
項 目					
1. 教育総務費		2,013,651	1,971,683	41,968	2.1
	1. 教 育 委 員 会 費	5,028	5,138	△110	△2.1
	2. 事 務 局 費	1,380,962	1,417,813	△36,851	△2.6
	3. 諸 費	627,661	548,732	78,929	14.4
2. 小 学 校 費		1,337,510	1,208,907	128,603	10.6
	1. 学 校 管 理 費	1,026,812	855,823	170,989	20
	2. 教 育 振 興 費	179,211	174,040	5,171	3
	3. 学 校 建 設 費	131,487	179,044	△47,557	△26.6
3. 中 学 校 費		910,366	790,025	120,341	15.2
	1. 学 校 管 理 費	708,219	616,616	91,603	14.9
	2. 教 育 振 興 費	171,805	154,973	16,832	10.9
	3. 学 校 建 設 費	30,342	18,436	11,906	64.6
4. 高等学校費		657,447	672,707	△15,260	△2.3
	1. 高 等 学 校 総 務 費	657,055	671,879	△14,824	△2.2
	2. 教 育 振 興 費	392	828	△436	△52.7
5. 特別支援学校費		16,378	16,711	△333	△2.0
	1. 特 別 支 援 学 校 費	16,378	16,711	△333	△2.0
6. 社会教育費		2,234,160	2,484,226	△250,066	△10.1
	1. 社 会 教 育 総 務 費	1,110,888	1,280,914	△170,026	△13.3
	2. 学 童 保 育 費	432,038	433,887	△1,849	△0.4
	3. 人 権 教 育 費	10,944	13,989	△3,045	△21.8
	4. 文 化 財 保 護 費	115,055	87,372	27,683	31.7
	5. 博 物 館 管 理 費	70,374	161,710	△91,336	△56.5
	6. 公 民 館 費	178,467	169,913	8,554	5
	7. 図 書 館 費	316,332	336,376	△20,044	△6.0
	8. コミュニティセンター管理費	62	65	△3	△4.6
7. 学校保健費		2,964,858	3,040,609	△75,751	△2.5
	1. 学 校 保 健 総 務 費	1,158,520	1,246,533	△88,013	△7.1
	2. 学校給食センター管理費	1,806,338	1,794,076	12,262	0.7

児童・生徒１人当たり教育費及び需用費

(単位：円)

種別	年度	20		21		22(決算見込み)		23(当初予算)	
			左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費		左のうち 需用費
小 学 校		55,629	25,186	50,806	24,310	49,582	23,576	57,515	30,401
中 学 校		80,355	34,188	76,883	33,612	74,810	31,680	81,894	30,891
市 立 高 校		822,906	52,915	798,565	45,812	782,316	46,887	782,208	43,139
特 別 支 援 学 校		336,799	89,806	353,105	83,515	336,078	86,034	348,468	87,872

育英資金の貸付状況（貸付対象：高校・高専・専修学校・短大・大学）

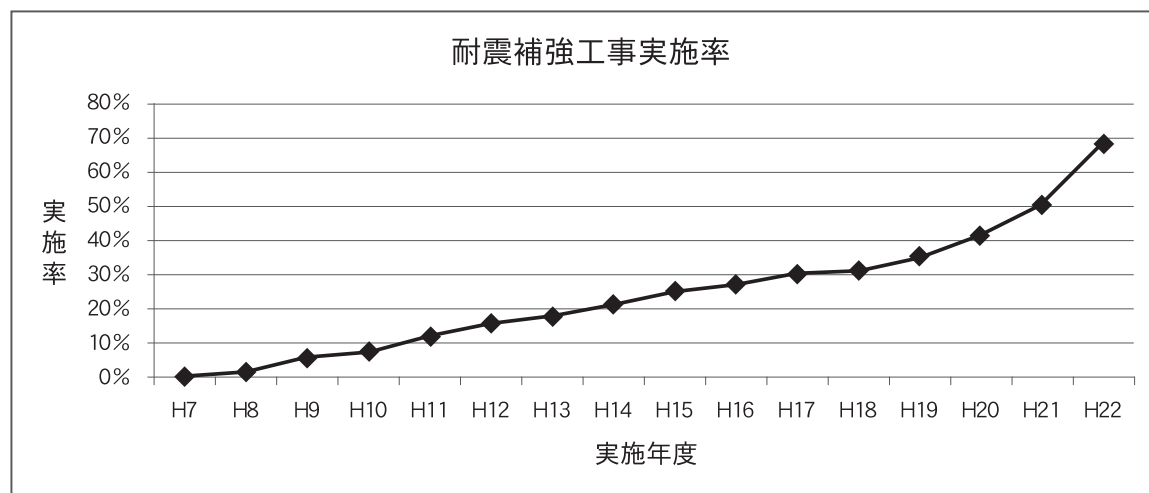
(単位：人・円)

種別	年度	20		21		22	
		人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
学 資 金		142(38)	43,023,000	140(41)	42,621,000	144(51)	42,674,000
入 学 準 備 金		23	6,280,000	26	6,830,000	23	6,090,000

()内は新規・内数

小中学校施設の耐震補強工事実施状況

平成7年度から耐震診断調査を実施し、平成8年度から耐震補強工事を実施しています。



耐震補強工事実施 * 重層体育館は校舎に含む

	耐震補強工事実施棟数						耐震補強 工事対象 棟数	工事 実施率
	小学校		中学校		計	累計		
	校舎	体育館	校舎	体育館				
平成8年度	1	0	1	0	2	2	169	1%
平成9年度	3	0	3	0	6	8	169	5%
平成10年度	1	0	3	0	4	12	169	7%
平成11年度	4	0	3	0	7	19	169	11%
平成12年度	3	0	3	0	6	25	169	15%
平成13年度	2	0	2	0	4	29	169	17%
平成14年度	3	0	4	0	7	36	169	21%
平成15年度	6	0	1	0	7	43	169	25%
平成16年度	1	0	2	0	3	46	169	27%
平成17年度	3	0	1	0	4	50	169	30%
平成18年度	1	0	2	0	3	53	169	31%
平成19年度	3	0	3	0	6	59	169	35%
平成20年度	6	0	4	0	10	69	169	41%
平成21年度	14	0	0	1	15	84	169	50%
平成22年度	13	12	0	6	31	115	169	68%

今後予定している耐震補強工事 * 重層体育館は校舎に含む

	耐震補強工事計画予定棟数						耐震補強 工事対象 棟数	予定 進捗率
	小学校		中学校		計	累計		
	校舎	体育館	校舎	体育館				
平成23年度	26	3	6	3	38	153	169	91%
平成24年度	3	0	12	1	16	169	169	100%

学 校 一 覧

小 学 校

(平成23.5.1現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	伊 藤 明	新家子 直 之	25	1	1	明治6年	郭町1-21	222-0308
川 越	細 野 千 尋	山 上 泉	32	1	1	明治6年	郭町1-1-1	222-0309
中 央	島 田 祐	太 田 康 子	25	1	1	明治7年	中原町1-25	222-0310
仙 波	平 野 秀 昭	斉 藤 伸 之	31	2	1	明治27年	富士見町4-1	222-0195
武 蔵 野	富 田 記久子	細 谷 敏 人	29	1	1	昭和45年	むさし野14-1	242-1394
新 宿	小 池 幸	武 井 澄 江	26	1	1	昭和57年	新宿町6-9-1	246-4227
大 塚	藤 田 武	吉 野 和 仁	23	1	1	昭和51年	南大塚1090-1	245-2929
泉	杉 原 達 人	勇 達 也	23	1	1	明治7年	小室463	242-3119
月 越	松 下 勇 司	井 口 修 一	19	1	1	昭和34年	月吉町51	222-2261
今 成	井戸川 伸 則	鷗 野 一 郎	17	1	1	昭和49年	今成2-42-1	224-3534
芳 野	関 根 廣 紀	樋 口 茂	18	1	1	明治6年	鴨田331	222-1264
古 谷	小 林 晃	吉 田 哲 夫	23	1	1	明治7年	古谷上5465	235-0193
南 古 谷	谷 川 輝 之	細 沼 良 行	36	1	1	明治6年	木野目1451	235-2150
牛 子	新 井 弘	赤 岩 昌 子	27	1	1	昭和52年	牛子418	245-6702
高 階	加 藤 浩 司	関 根 甲 子	29	1	1	大正12年	砂新田58	242-0689
高 階 南	加 藤 伸 二	山 田 勇	24	1	1	昭和45年	諏訪町12-3	242-7566
高 階 北	櫻 井 保 夫	伊 藤 真	33	1	1	昭和48年	砂新田1-16-1	244-0988
高 階 西	磯 田 祥 史	戸 口 千 尋	19	1	1	昭和49年	藤間1102	243-6042
寺 尾	松 本 英 之	森 田 惠	19	1	1	昭和53年	寺尾979-2	245-9555
福 原	吉 田 宏	野 崎 正 行	31	1	1	明治7年	今福508	243-4036
大 東 東	小 林 三千雄	馬 橋 泰 雄	26	1	1	明治6年	豊田本1162	243-3105
大 東 西	関 根 康 弘	水戸部 匡	27	1	1	明治7年	山城32-5	243-3910
霞ヶ関	山 田 直 樹	天 宮 弘	36	1	1	明治6年	笠幡177	231-1303
霞ヶ関南	石 川 辰 夫	藤 田 貴 訓	14	1	1	昭和49年	かすみ野1-1-4	232-0395
霞ヶ関北	平 岡 健	永 井 淳 仁	26	1	1	昭和44年	伊勢原町5-1-1	231-1968
霞ヶ関東	飯 島 富 保	横 山 紀 子	18	1	1	昭和50年	的場2735-2	232-4871
霞ヶ関西	加 藤 弘 昭	横 山 敦 子	20	1	1	昭和53年	笠幡3971-4	232-8500
川 越 西	小 林 英 二	島 田 正 人	20	1	1	昭和58年	川鶴1-5	231-0181
名 細	齋 藤 薫	宮 島 幸 夫	28	1	1	明治7年	小堤214	231-2216
上 戸	宮 崎 洋 子	日出間 均	19	1	1	昭和51年	上戸390-1	232-7200
広 谷	木 田 正 美	長谷川 郁 代	20	1	1	昭和56年	下広谷558-1	233-3941
山 田	高 橋 秀 幸	栗 田 友季子	28	1	1	明治8年	山田167	222-2042
計	32校		791	33	32			

※教職員数には兼務者を含まない。

中 学 校

(平成23. 5. 1現在)

学 校 名	校 長 名	教 頭 名	教 職 員 数			開 校 年	所 在 地	電 話
			校長教員	養護	事務			
川越第一	近 藤 誠	江 崎 貞 二	33	1	1	昭和22年	小仙波町5-6	222-1204
初 雁	中 島 明 男	梶 田 英 司	33	2	1	昭和22年	宮下町1-21-3	222-0749
富士見中	吉 野 榮	伊 藤 博	34	1	1	昭和24年	東田町17-1	242-0931
野 田	久保田 修 平	福 島 一	18	1	1	昭和57年	野田町2-19-14	246-8484
城 南	佐 野 勝	斯 波 敬	30	1	1	昭和22年	新宿町3-19-1	242-0978
芳 野	小 熊 利 明	横 内 治	13	1	1	昭和22年	石田本郷733	222-1265
東	金 子 操	勢 昌 章	20	1	1	昭和36年	小中居278	235-2731
南 古 谷	高 柳 栄	安 田 孝 之	22	1	1	昭和58年	久下戸3721	235-2664
高 階	小谷野 健 史	小 杉 功 吉	29	1	1	昭和22年	藤間10	242-1010
高 階 西	駒 井 忠 幸	吉 田 剛	19	1	1	昭和60年	砂新田2593	244-6741
寺 尾	高 桑 昌 作	齊 藤 正 巳	27	1	1	昭和52年	寺尾1068	245-6701
砂	高 橋 洋 治	山 下 豊	22	1	1	昭和56年	砂260	242-6588
福 原	嶋 津 文 行	平 岩 俊 哉	21	1	1	昭和22年	今福512	243-4140
大 東	疋 田 正 典	内 藤 隆	31	1	1	昭和22年	南大塚1-20-1	243-3738
大 東 西	福 島 正 美	大 野 光 男	19	1	1	昭和62年	大袋新田391	246-7166
霞ヶ関	鈴 木 朗	天 達 新 一	25	1	1	昭和22年	笠幡72	231-1302
霞ヶ関東	鈴 木 裕 二	田 中 孝	22	1	1	昭和52年	的場2706	232-4606
霞ヶ関西	和 栗 智 巳	伊 藤 文 範	21	1	1	昭和58年	笠幡3464-3	231-0188
川 越 西	荒 井 章	堤 貴 幸	22	1	1	昭和58年	川鶴1-1	231-0641
名 細	中 野 浩 義	勝 田 茂 雄	26	2	1	昭和22年	小堤14	231-2213
鯨 井	本 郷 順	南 里 洋二郎	14	1	1	昭和55年	鯨井562-2	231-0255
山 田	浅 野 貞 雄	矢 嶋 充 夫	19	1	1	昭和22年	山田550	222-2043
計	22校		520	24	22			

特 別 支 援 学 校

市立特別支援学校 (高等部)	高 田 豊	浅 見 由利子	21	1	2	昭和39年	宮下町1-19-1	222-2753
-------------------	-------	---------	----	---	---	-------	-----------	----------

高 等 学 校

市立川越高校	青 木 勇 藤	笠 原 弘 康	46	1	7	大正15年	旭町2-3-7	243-0800
--------	---------	---------	----	---	---	-------	---------	----------

学 校 施 設 の 現 況

小 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造換算)	計	1人当たり 校 舎 面 積
川 越 第 一	5,237	126		5,363	8.1
川 越	8,088	41		8,129	12.8
中 央	5,030	48		5,078	10.6
仙 波	7,356			7,356	8.9
武 蔵 野	6,089	116		6,205	8.9
新 宿	5,577	105		5,682	8.3
大 塚	5,073	109		5,182	11.6
泉	4,981	81		5,062	9.7
月 越	6,396	38		6,434	17.3
今 成	4,069	223		4,292	10.9
芳 野	3,695	144		3,839	11.2
古 谷	4,859	51	64	4,974	9.5
南 古 谷	5,192	102		5,294	5.9
牛 子	5,437	78		5,515	7.7
高 階	6,639	131		6,770	10.0
高 階 南	5,351	146	26	5,523	10.8
高 階 北	5,375	143		5,518	7.3
高 階 西	5,169	179		5,348	11.6
寺 尾	6,054	103		6,157	14.9
福 原	7,132	94		7,226	9.0
大 東 東	4,481	173	20	4,674	7.4
大 東 西	4,503	489	20	5,012	7.3
霞 ケ 関	6,960	106		7,066	9.8
霞 ケ 関 南	4,544	250		4,794	19.3
霞 ケ 関 北	8,219	88		8,307	12.7
霞 ケ 関 東	4,751	93		4,844	13.8
霞 ケ 関 西	5,347	148		5,495	12.4
川 越 西	6,398	110		6,508	16.5
名 細	6,153	81		6,234	13.0
上 戸	5,120	124		5,244	11.6
広 谷	5,762	124		5,886	17.4
山 田	5,310	162		5,472	8.3
計	180,347	4,006	130	184,483	10.3

(平成23.5.1現在/単位：㎡)

屋 内 運 動 場		校 地 保 有 面 積				
鉄 骨 その他造 (体育館用 トイレを含む)	1人当たり 屋内運動場 面 積	建 物 敷 地	屋外運動場	1人当たり 屋外運動場 面 積	計	1人当たり 校地面積
809	1.2	5,375	(135) 10,152	15.4	(135) 15,527	23.5
800	1.3	9,708	4,136	6.5	13,844	21.8
808	1.7	6,483	4,463	9.3	10,946	22.8
809	1.0	6,502	6,387	7.7	12,889	15.6
809	1.2	6,565	9,848	14.1	16,413	23.5
1,053	1.5	(903) 5,758	(1,583) 6,338	9.3	(2,486) 12,096	17.8
859	1.9	5,775	6,034	13.6	11,809	26.5
1,022	2.0	(881) 5,483	5,863	11.3	(881) 11,346	21.8
804	2.2	11,047	7,044	18.9	18,091	48.6
883	2.2	4,633	8,322	21.1	12,955	32.9
829	2.4	4,697	14,036	40.9	18,733	54.6
805	1.5	8,959	9,275	17.8	18,234	34.9
792	0.9	5,560	7,864	8.8	13,424	15.0
819	1.1	6,293	7,444	10.4	13,737	19.2
813	1.2	8,325	8,584	12.8	16,909	25.1
792	1.5	6,952	8,010	15.7	14,962	29.3
800	1.1	5,177	(7,521) 7,521	10.0	(7,521) 12,698	16.9
883	1.9	6,085	9,394	20.4	15,479	33.6
793	1.9	5,028	6,693	16.2	11,721	28.3
800	1.0	8,655	8,293	10.4	16,948	21.2
885	1.4	5,154	6,543	10.4	11,697	18.6
804	1.2	6,000	8,519	12.4	14,519	21.2
841	1.2	10,552	8,140	11.3	18,692	25.9
738	3.0	7,947	7,380	29.8	15,327	61.8
1,442	2.2	14,211	9,850	15.1	24,061	36.9
839	2.4	5,770	7,944	22.7	13,714	39.2
803	1.8	(968) 5,833	7,432	16.8	(968) 13,265	29.9
1,053	2.7	9,821	12,539	31.8	22,360	56.8
813	1.7	8,775	10,669	22.3	19,444	40.6
793	1.7	3,982	10,313	22.7	14,295	31.5
966	2.8	7,160	6,798	20.1	13,958	41.2
1,056	1.6	6,790	12,995	19.7	19,785	29.9
27,815	1.6	(2,752) 225,055	(9,239) 264,823	14.8	(11,991) 489,878	27.4

() 内は借用分・内数

中 学 校

学 校 名	校 舎 保 有 面 積				
	鉄 筋 コンクリート造	鉄骨その他造 (鉄筋コンクリート造換算)	木 造 (鉄筋コンクリート造換算)	計	1人当たり 校 舎 面 積
川 越 第 一	5,408	459		5,867	8.6
初 雁	6,834	144	50	7,028	13.2
富 士 見	5,425	239		5,664	14.7
野 田	6,245	436		6,681	22.4
城 南	5,582	451		6,033	9.8
芳 野	4,057	186		4,243	24.1
東	5,597	472	6	6,075	16.2
南 古 谷	5,883	423		6,306	18.0
高 階	6,014	47		6,061	11.5
高 階 西	5,381	409		5,790	20.0
寺 尾	6,244	118		6,362	14.1
砂	7,002	583		7,585	18.9
福 原	5,667	399		6,066	18.6
大 東	6,657	350		7,007	12.7
大 東 西	6,155	109		6,264	19.1
霞 ケ 関	4,453	658		5,111	12.0
霞 ケ 関 東	5,537	159		5,696	13.3
霞 ケ 関 西	7,443	113		7,556	24.9
川 越 西	6,252	423		6,675	19.4
名 細	5,547	396		5,943	14.9
鯨 井	4,614	90		4,704	26.0
山 田	4,555	444		4,999	17.8
計	126,552	7,108	56	133,716	15.5

特別支援学校

市 立 特 別 支 援 学 校	1,372	413		1,785	38.0
-----------------	-------	-----	--	-------	------

高等学校

市 立 川 越 高 校	(鉄骨換算) 17,403			17,403	20.7
-------------	------------------	--	--	--------	------

(平成23.5.1現在/単位：㎡)

屋 内 運 動 場		校 地 保 有 面 積				
鉄 骨 その他造 (体育館用 トイレを含む)	1人当たり 屋内運動場 面 積	建 物 敷 地	屋外運動場	1人当たり 屋外運動場 面 積	計	1人当たり 校地面積
766	1.1	(800) 10,178	(489) 10,203	15.0	(1,289) 20,381	30.0
1,320	2.5	6,064	19,826	37.1	25,890	48.5
788	2.0	8,347	(1,391) 16,355	42.5	(1,391) 24,702	64.2
1,455	4.9	12,815	15,961	53.6	28,776	96.6
794	1.3	6,800	(9,898) 16,738	27.3	(9,898) 23,538	38.4
810	4.6	5,052	8,462	48.1	13,514	76.8
813	2.2	8,832	12,585	33.6	21,417	57.1
1,449	4.1	11,420	17,208	49.0	28,628	81.6
793	1.5	7,056	10,129	19.3	17,185	32.7
1,435	4.9	(3,204) 9,275	(1,836) 20,003	69.0	(5,040) 29,278	101.0
807	1.8	5,621	14,166	31.5	19,787	44.0
909	2.3	10,682	20,531	50.8	31,213	77.8
804	2.5	8,804	(3,599) 16,401	50.2	(3,599) 25,205	77.1
813	1.5	10,239	15,177	27.5	25,416	46.0
1,436	4.4	10,657	13,033	39.7	23,690	72.2
817	1.9	6,838	16,177	38.0	23,015	54.0
809	1.9	6,749	14,162	33.1	20,911	48.9
1,409	4.7	(1,073) 13,366	(3,167) 13,859	45.7	(4,240) 27,225	89.9
1,453	4.2	10,928	15,200	44.2	26,128	76.0
818	2.0	7,420	12,783	32.0	20,203	50.5
910	5.0	9,263	13,102	72.4	22,365	123.6
789	2.8	4,589	18,135	64.5	22,724	80.9
22,197	2.6	(5,077) 190,995	(20,380) 330,196	38.2	(25,457) 521,191	60.3

		1,160	2,000	42.6	3,160	67.2
--	--	-------	-------	------	-------	------

3,836	4.6	13,612	27,437	32.7	41,049	48.9
-------	-----	--------	--------	------	--------	------

() 内は借用分・内数

児 童 生 徒 数 と 今 後 の 推 移

小 学 校

(平成23.5.1現在)

学 校 名	平 成 23 年 度					平成24年度以降の推移		
	児 童 数	学 級 数	特別支援学級 児 童 数	特別支援 学 級 数	合 計 児 童 数	24年度	25年度	26年度
川 越 第 一	660	20			660	611	600	600
川 越	622	18	12	3	634	613	645	640
中 央	468	14	12	3	480	475	463	465
仙 波	825	24			825	851	822	819
武 蔵 野	699	21			699	670	637	599
新 宿	681	20			681	659	659	661
大 塚	427	13	18	4	445	428	434	438
泉	521	17			521	524	530	535
月 越	361	12	11	2	372	357	369	354
今 成	394	12			394	388	382	382
芳 野	343	12			343	339	330	324
古 谷	522	17			522	504	518	538
南 古 谷	879	25	13	2	892	901	900	918
牛 子	717	21			717	777	800	822
高 階	660	19	13	3	673	649	665	679
高 階 南	498	16	13	2	511	475	456	425
高 階 北	727	21	25	4	752	735	716	681
高 階 西	461	14			461	444	452	449
寺 尾	414	14			414	417	423	426
福 原	800	24			800	829	852	876
大 東 東	629	19			629	663	700	706
大 東 西	685	20			685	665	676	679
霞 ケ 関	698	21	24	4	722	728	763	785
霞ケ関南	248	10			248	237	227	206
霞ケ関北	652	19			652	603	564	538
霞ケ関東	350	12			350	321	309	291
霞ケ関西	443	15			443	458	485	490
川 越 西	394	12			394	355	323	294
名 細	460	16	19	4	479	487	525	560
上 戸	454	14			454	451	467	468
広 谷	339	12			339	336	336	338
山 田	657	19	4	1	661	655	662	664
計 32 校	17,688	543	164	32	17,852	17,605	17,690	17,650

		平成23年度					平成24年度以降の推移		
		児童数	学級数	特別支援学級 児童数	特別支援 学級数	合計 児童数	24年度	25年度	26年度
学 年 別	1 年	2,930	98	14		2,944	2,805	2,982	2,948
	2 年	2,890	96	20		2,910	2,944	2,805	2,982
	3 年	3,028	90	32		3,060	2,910	2,944	2,805
	4 年	2,956	87	32		2,988	3,061	2,910	2,944
	5 年	2,869	84	28		2,897	2,988	3,061	2,910
	6 年	3,015	88	38		3,053	2,897	2,988	3,061

中 学 校

(平成23.5.1現在)

学 校 名		平成23年度					平成24年度以降の推移		
		生徒数	学級数	特別支援学級 生徒数	特別支援 学級数	合計 生徒数	24年度	25年度	26年度
川 越 第 一		680	19			680	658	677	659
初 雁		520	16	14	3	534	532	516	498
富 士 見		360	11	25	4	385	398	383	411
野 田		298	9			298	281	266	283
城 南		613	18			613	653	623	649
芳 野		176	6			176	179	191	183
東		375	12			375	389	401	432
南 古 谷		351	12			351	373	378	395
高 階		506	14	19	3	525	512	456	416
高 階 西		290	9			290	302	304	287
寺 尾		444	13	6	2	450	412	431	458
砂		401	12			401	434	456	495
福 原		327	9			327	369	418	477
大 東		552	17			552	530	539	562
大 東 西		328	10			328	350	353	356
霞 ケ 関		420	13	6	2	426	447	479	494
霞 ケ 関 東		428	13			428	421	386	357
霞 ケ 関 西		293	9	10	2	303	297	282	299
川 越 西		344	11			344	343	317	285
名 細		390	12	10	2	400	402	411	427
鯨 井		181	6			181	189	214	236
山 田		281	9			281	313	350	357
計 22校		8,558	260	90	18	8,648	8,784	8,831	9,016
学 年 別	1 年	2,808	91	27		2,835	3,067	2,929	3,020
	2 年	2,853	86	29		2,882	2,835	3,067	2,929
	3 年	2,897	83	34		2,931	2,882	2,835	3,067

特別支援学校・高等学校

(平成23.5.1現在)

学 校 名	1 年生徒数	2 年生徒数	3 年生徒数	合 計
市立特別支援学校	16 (2)	16 (2)	15 (2)	47 (6)
市立川越高校	285 (8)	281 (8)	274 (8)	840 (24)

() 内は学級数

小・中・特別支援学校教職員の数

(平成23. 5. 1現在)

区 分	校 長		教 頭		主幹教諭		教諭・助教諭		養護教諭	栄養教諭・学校栄養職員		事務職員		用務員		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小 学 校	29	3	24	8	3	0	247	475	33	0	2	7	25	12	11	322	557
中 学 校	22	0	22	0	4	0	259	213	24	0	0	6	16	12	10	325	263
小 計	51	3	46	8	7	0	506	688	57	0	2	13	41	24	21	647	820
特別支援学校	1	0	0	1	0	0	6	13	1	0	0	1	1	0	1	8	17
合 計	52	3	46	9	7	0	512	701	58	0	2	14	42	24	22	655	837
男 女 計	55		55		7		1, 213		58	2		56		46		1, 492	

※兼務者数を除く

高等学校教職員の数

(平成23. 5. 1現在)

校 長	教 頭	教 諭		非常勤講師		養護教諭	事務長	事務職員		用務員		計		
男	男	男	女	男	女	女	男	男	女	男	女	男	女	計
1	1	33	11	4	8	1	1	4	2	3	0	47	22	69

※再任用教諭を除く

幼 稚 園 一 覧

(平成23. 5. 1現在)

園名	区分	所 在 地	電 話	園名	区分	所 在 地	電 話
初 雁 幼 稚 園		大手町8-5	222-5385	か す み 幼 稚 園		安比奈新田6-1	231-0805
川 越 幼 稚 園		中原町1-5-6	222-5139	新 河 岸 幼 稚 園		砂665-2	242-5161
ひ つ じ 幼 稚 園		仙波町3-6-1	222-1743	川越あさひ幼稚園		旭町3-20-6	242-6732
川越双葉幼稚園		幸町5-11	227-5258	川越ひばり幼稚園		寺山466-1	226-0115
ひまわり幼稚園		三久保町16-6	222-2492	岡 田 幼 稚 園		古谷上5440	235-0345
あそか幼稚園		小仙波町5-4-2	222-1671	のぞみ幼稚園		笠幡2764	234-5686
ルンビニ幼稚園		宮元町1-14	222-2538	南 双 葉 幼 稚 園		むさし野1-6	243-1021
高 階 幼 稚 園		砂新田4-1-1	242-2259	川越白ゆり幼稚園		上戸189-9	232-1121
日 の 丸 幼 稚 園		新宿町2-3-8	242-2041	あ お ば 幼 稚 園		下新河岸65-2	244-3010
霞ヶ関幼稚園		霞ヶ関北6-3-1	231-1777	ひまわり東幼稚園		郭町2-18-7	224-7950
ふ じ ま 幼 稚 園		熊野町13-10	242-7777	藤原白百合幼稚園		藤原町22-10	244-5221
ながさわ幼稚園		鴨田856-2	223-2215	川越なかよし幼稚園		今福2721-3	243-4108
みよしの幼稚園		的場1904-11	232-8870	第二ひつじ幼稚園		今成2-10-9	225-3208
東 光 幼 稚 園		藤間1126	242-3185	川越第二ひばり幼稚園		笠幡1600	232-2413
ふくはら幼稚園		今福1780-5	243-4216	ひかりの子幼稚園		大袋新田181-1	245-9489
ひまわり南幼稚園		寿町1-2288	242-4382	川鶴ひばり幼稚園		川鶴3-10	233-2588

※上記は全て私立幼稚園。

幼稚園数・園児数・学級数の推移

(平成22. 5. 1現在 平成22年度学校基本調査より)

年 度	園 数	園 児 数				学 級 数
		3 歳	4 歳	5 歳	計	
17	35	1,449	2,295	2,399	6,143	251
18	35	1,557	2,378	2,312	6,247	258
19	35	1,545	2,412	2,374	6,331	262
20	35	1,633	2,265	2,422	6,320	261
21	35	1,556	2,362	2,309	6,227	260
22	34	1,745	2,189	2,376	6,310	259

※園数は休園を含む。

教育センターの概要

教 育 セ ン タ ー

- (1) 名 称 川越市立教育センター
- (2) 所在地 古谷上6083-10（電話 235-7591・ファクス 230-1023）
- (3) 沿 革

昭和56年8月1日	川越市立教育研究所準備室を設置する。
昭和61年4月1日	川越市立教育研究所を設置する。
平成12年4月1日	川越市教育総合相談センター（リベール）を開設する。
平成15年4月1日	中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。
平成19年4月1日	組織改編に伴い、係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。
平成21年4月1日	旧川越市立古谷東小学校を教育研究所（旧古谷東小）施設とする。
平成22年4月1日	川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室（リベール）を設置する。
- (4) 業 務
 - ①教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査研究に関すること。
 - ②教育関係職員の研修に関すること。
 - ③教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
 - ④教育相談に関すること。
 - ⑤特別支援教育の推進並びに障害のある児童及び生徒の就学支援に関すること。
 - ⑥その他教育の充実及び振興を図るための必要な業務に関すること。
- (5) 職 員
 所長、副所長、研修担当主査、研修担当指導主事、教育相談担当主査、教育相談担当指導主事、管理担当主任、臨時職員（事務職員・講師・相談員・臨床心理士）
- (6) 本年度の調査・研究
 - ①児童生徒の学力に関する調査・研究
 - 学力検査結果、学力・学習状況調査結果の分析に基づく指導方法の工夫・改善に関する研究
 - ②教育に関する3つの達成目標推進に関する調査・研究
 - 検証結果の分析と取組の充実を図る指導方法の研究
 - ③体力向上に関する調査・研究
 - 体力向上事業を推進するための調査、指導方法の研究
 - ④男女平等教育に関する調査・研究
 - 男女共同参画社会の構築に向けた指導方法の研究
 - ⑤情報教育に関する調査・研究
 - 情報教育に関する資料の収集整理及び学習指導へのコンピュータ利用の研究
 - ⑥小学校外国語活動に関する調査・研究
 - 小学校外国語活動を推進するための指導計画・指導方法の研究



研 修 会 一 覧

分 類			研 修 会 名	所 管 課 所	対 象		主 催
I 基 本 研 修	1 基礎研修	初任者研修	川越市立小学校初任者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立中学校初任者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校初任者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校初任者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			川越市立学校初任者栄養教諭研修会	学管・教職員担当	栄養教諭	指定	県
		新規採用等 教職員研修	新規採用養護教員研修	教指・保健担当	養護教諭	指定	県
			新規採用学校栄養職員研修会	学給・管理担当	学校栄養職員	指定	県
			新規採用学校事務職員研修会	学管・教職員担当	学校事務職員	指定	県
			新任転入等養護教諭研修会	教指・保健担当	養護教諭	指定	市
			新任転入等学校事務職員研修会	学管・教職員担当	学校事務職員	指定等	市
			公立小中学校臨時的任用教員研修会	学管・教職員担当	教諭等	指定	市・県
			少人数学級のための臨時講師研修会	学管・教職員担当	臨時講師	指定	市
		教職員経験者 研修	川越市立小学校5年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立中学校5年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校5年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校5年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			養護教員5年経験者研修	教指・保健担当	養護教諭	指定	県
			学校栄養職員5年経験者研修	学給・管理担当	学校栄養職員	指定	県
			川越市立小学校10年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立中学校10年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	市
			川越市立高等学校10年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			川越市立特別支援学校10年経験者研修	教セ・研修担当	教諭等	指定	県
			養護教員10年経験者研修	教指・保健担当	養護教諭	指定	県
			学校栄養職員10年経験者研修	学給・管理担当	学校栄養職員	指定	県
			川越市立学校20年経験者研修	教セ・研修担当	小中特高教諭等	指定	市
		特別支援教育 新担当教員研修	特別支援学級新担当教員研修会	教セ・教育相談担当	教諭等	指定	県
			通級指導教室新担当教員研修会	教セ・教育相談担当	教諭等	指定	県
	2 管理職等 研修	管理職候補者研修	校長候補者研修会	学管・教職員担当	教頭等	指定	県
			教頭候補者研修会	学管・教職員担当	教諭等	指定	県
		新任等管理職研修	新任校長・教頭事前研修会	学管・教職員担当	教頭・教諭等	指定	県
			新任校長・教頭研修会	学管・教職員担当	新任校長教頭	指定	県
		管理職研修	校長研修会	学管・教職員担当	校長	指定	市・県
			3年次校長研修会	学管・教職員担当	3年目の校長	指定	県
			教頭研修会	学管・教職員担当	教頭	指定	市・県
			一人一人を大切に、信頼関係に立つ教育推進教頭研修会	教指・指導担当	教頭	指定	市
			生きる力をはぐくむ校種間連携教育研修会	学管・校種間連携担当	校長・教頭	指定	市
	3 職能別 研修	非常勤職員等研修	特別支援教育支援員研修会	教セ・教育相談担当	支援員	指定	市
			特色あるさわやか相談室づくり研修会	教セ・教育相談担当	相談員	指定	市
			魅力ある学校図書館をつくる図書整理員研修会	教指・指導担当	図書整理員	指定	市
			英語指導助手研修会	教セ・研修担当	英語指導助手	指定	市
		主幹教諭研修	主幹教諭研修会	教セ・研修担当	主幹教諭	指定等	市
		教務主任研修	教務主任研修会	教セ・研修担当	教務主任	指定等	市
		学校事務職員研修	学校事務職員研修会	学管・教職員担当	学校事務職員	指定	市
		栄養教諭・学校栄養職員研修	栄養教諭・学校栄養職員研修会	学給/学管・教職員担当	栄養教諭・学校栄養職員	指定等	市
		初任者研修拠点校指導教員研修	初任者研修拠点校指導教員研修会	教セ・研修担当	拠点校指導教員等	指定等	市
		学校保健	養護教諭研修会	教指・保健担当	養護教諭	指定	市
			保健主事研修会	教指・保健担当	保健主事	指定等	市

学 校 教 育

分		類	研 修 会 名	所 管 課 所	対 象		主催		
Ⅰ 基本研修	3 職能別 研修	道徳教育	道徳教育推進教師研修会	教セ・研修担当	道徳教育推進教師等	指定等	市		
		特別支援教育	特別支援教育コーディネーター養成研修会	教セ・教育相談担当	特別支援教育コーディネーター等	指定等	市		
			就学相談担当者研修会	教セ・教育相談担当	就学相談担当者等	指定等	市		
			特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会	教セ・教育相談担当	特別支援学級担任 通級指導教室担当者	全校・指定	市		
			教育相談	学校教育相談コンサルテーション研修会	教セ・研修担当	教育相談担当者等	指定等	市	
		学校図書館教育	子ども読書活動推進研修会	教セ・研修担当	司書教諭等	指定等	市		
		情報教育	管理職のための ICT 活用研修会	教セ・研修担当	校長・教頭	指定等	市		
			情報化推進リーダー研修会	教セ・研修担当	情報化推進リーダー等	指定等	市		
		進路指導・キャリア教育	進路指導・キャリア教育研修会	教指・指導担当	進路・キャリア教育担当者等	指定等	市		
Ⅱ	1 重点研修	教科全般	学力向上研修会	教セ・研修担当	教諭等	全校参加	市		
		理科	理科授業づくり研修会(理科授業づくり基礎コース)	教セ・研修担当	教諭等	全小学校参加	市		
		体育・保健体育科	体力向上全体研修会	教指・指導担当	体育・保健体育主任等	全校参加	市		
		生徒指導	生徒指導主任研修会	教指・指導担当	生徒指導主任等	全校参加	市		
		人権教育	人権教育主任研修会	教指・指導担当	人権教育主任等	全校参加	市		
			人権教育授業研究会	教指・指導担当	教科主任等	全校参加	市		
			男女平等教育研修会	教指・指導担当	教務主任等	全校参加	市		
		環境教育	環境教育研修会	教セ・研修担当	環境教育主任等	全校参加	市		
		国際理解教育	国際理解教育研修会	教セ・研修担当	国際理解教育主任等	指定等	市		
		小学校外国語活動	小学校英語活動指導者研修会	教セ・研修担当	小学校教諭等	全小学校参加	市		
		幼年期教育	子どものよりよい成長を考える研修会	教指・指導担当	教諭等	全小学校参加	市		
		食育指導	食に関する指導法研修会	教セ・研修担当	教諭等	全校参加	市		
		学級経営	指導力スキルアップ研修会	教セ・研修担当	採用2年目教諭等	指定等	市		
		学習指導	市立高等学校教員進学指導力向上研修	学管・教職員担当	市立高等学校教諭	推薦	市		
	家庭・地域連携	保護者とともに考える研修	教セ・教育相談担当	教諭等・保護者	指定・希望	市			
	専 門 研 修	2 奨励 研修	教科等研修	国語科	国語科授業づくり研修会(国語力向上コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
					国語科授業づくり研修会(読書指導コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				社会科	社会科授業づくり研修会(副読本活用コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
					社会科授業づくり研修会(授業づくり基礎コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				算数・数学科	算数・数学科授業づくり研修会(数学的な思考力・表現力コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
算数・数学科授業づくり研修会(楽しい授業づくりコース)					教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
算数・数学科授業づくり研修会(個に応じた指導コース)					教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
理科				理科授業づくり研修会(新しい授業づくりコース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
				理科授業づくり研修会(観察・実験指導コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
				理科授業づくり研修会(教材研究コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
英語科				英語科授業づくり研修会	教セ・研修担当	英語科教諭	希望	市	
				A E T と楽しむ英会話研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
生活科				学ぶ楽しさを育む生活科授業づくり研修会	教セ・研修担当	小学校教諭等	希望	市	
音楽科				楽しい音楽科授業づくり研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
			やさしい和楽器実技研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市		
図画工作・美術科			楽しい図工・美術科授業づくり研修会(教材作りコース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市		
			楽しい図工・美術科授業づくり研修会(アートカード活用コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市		
技術・家庭科			楽しい技術・家庭科授業づくり研修会(技術分野コース)	教セ・研修担当	教諭等	希望	市		
			楽しい技術・家庭科授業づくり研修会(家庭科分野コース)						
教科等研修			教科等研修	体育・保健体育科	体力と運動技能を高める指導法研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
					体育・保健体育科授業づくり研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				道徳	豊かな心を育てる道徳教育研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				特別活動	望ましい人間関係づくり研修会	教セ・研修担当	教諭等	希望	市

分			類	研 修 会 名		所 管 課 所	対 象		主催
Ⅱ 専 門 研 修 研 修	2 奨 励 研 修	領域等研修	教育相談	学校カウンセリング初級研修会		教セ・教育相談担当	教諭等	希望	市
				学校カウンセリング中級研修会		教セ・教育相談担当	教諭等	希望	市
				学校カウンセリング上級研修会		教セ・教育相談担当	教諭等	推薦	県
			情報教育	やさしいパソコン操作Ⅰ研修会（ワープロコース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				やさしいパソコン操作Ⅱ研修会（表計算コース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				パソコンプレゼンテーションⅠ研修会（基本作成コース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				パソコンプレゼンテーションⅡ研修会（応用作成コース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				パソコンホームページ作成研修会		教セ・研修担当	管理職・教諭等	希望	市
				パソコンホームページ更新研修会		教セ・研修担当	管理職・教諭等	希望	市
				授業に役立つパソコンⅠ活用研修会（ICTを活用した授業づくりコース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
		授業に役立つパソコンⅡ活用研修会（情報モラル指導コース）		教セ・研修担当	教諭等	希望	市		
		教育課題研修	生徒指導等	学級経営スキルアップ研修会		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				教師のための話し方スキルアップ研修会		教セ・研修担当	教諭等	希望	市
				不登校児童生徒サポート研修会		教セ・教育相談担当	教諭等	希望	市
	特別支援教育		発達障害の理解と指導法研修会		教セ・教育相談担当	教諭等	希望	市	
	3 特色ある 教育推進 研修	地域学習推進	やまぶき夢プラン「かわごえ異業種体験研修」		学管・校種間連携担当	教諭等	推薦	市	
			川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー		博・教育普及担当	教諭等	全校参加	市	
			博物館活用指導者研修会		博・教育普及担当	教諭等	全校参加	市	
			特色ある学校づくり研修会（総合的な学習の時間）		教セ・研修担当	教諭等	全校参加	市	
			今日的な教育課題の解決を考える研修会		教セ・研修担当	教諭等	指定等	市	
Ⅲ 特 別 研 修	1 派遣研修	長期研修教員等	長期研修教員等派遣研修		教指・指導担当	教諭等	推薦	県	
		派遣研修	大学院大学派遣研修		教指・指導担当	教諭等	推薦	県	
		在外教育施設派遣研修	在外教育施設派遣研修		学管・教職員担当	教諭等	推薦	国	
		中央研修	教員研修センター中央研修		学管・教職員担当	教諭等	推薦	国	
		学校と社会の相互交流事業	民間企業等派遣研修		学管・教職員担当	教諭等	推薦	県	
	2 県教育委員 会研修	特定研修	県立総合教育センター特定研修		教セ・研修担当	教諭等	推薦	県	
		専門研修	県立総合教育センター等専門研修		教セ・研修担当	教諭等	指定等	県	
		県等主催研修	県教育局各課等における主催研修事業		教セ・研修担当	教諭等	指定等	県	
	3 要請研修	訪問指導研修	訪問指導研修		教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
		来訪指導研修	来訪指導研修		教セ・研修担当	教諭等	指定	市	
		教育センター研修	教育センター研修		教セ・研修担当	教諭等	希望	市	
	特別講習	学校保健		学校環境衛生検査器具取扱い講習会		教指・保健担当	新任・転入養教保健主事	指定	市
		応急手当普及員	応急手当普及員講習会		教指・保健担当	教諭等	指定	市・消	
応急手当普及員再講習（平成20年度取得者）			教指・保健担当	教諭等	指定	市・消			
教職員健康増進		教職員健康増進講習会		学管・教職員担当	教諭等	全校参加	市		
動物飼育		小学校動物飼育講習会		教セ・研修担当	教諭等	全小学校参加	市		
学校保健		就学時健康診断等に関する講習会		教指・保健担当	養護教諭等	全小学校参加	市		
		学校歯科保健指導者講習会		教指・保健担当	保健主事	全校参加	市		
		普通救命講習会		教指・保健担当	教諭等	全校参加	市		
		学校プール管理講習会		教指・指導担当	教諭等	全校参加	市		
体育・保健体育科		小学校体育実技指導法講習会（水泳）		教指・指導担当	教諭等	全小学校参加	市		

※所管課所：川越市教育委員会において所管している課所等を略称で表している。

教セ＝教育センター 教指＝教育指導課 学管＝学校管理課 博＝博物館

※対 象：対象とする教職員の職名等を表している。

指定＝対象者を指定 全校参加＝各学校から1人参加 希望＝校長の承認の下、希望により参加 指定等＝指定を中心に、その他の参加の場合もあり 推薦＝校長の推薦の下、選考等により認められて参加

委嘱学校研究等一覧

(平成23年度)

学校名等	教科領域	研 究 題 目	発表予定日
川 越 小 学 校	国語科	人とかかわりを大切にし、主体的に活動できる児童の育成 ～伝え合い、学び合う国語の力～	平成23年 11月11日 (金)
仙 波 小 学 校	道徳	思いやりの心をもち、規範意識を高める仙波っ子の育成 ～道徳的実践力を高める指導法の工夫～	平成23年 11月18日 (金)
霞ヶ関北小学校	特別活動	子どもたちの自信を育む特別活動	平成24年 1月27日 (金)
芳 野 小 学 校	算数科	一人一人が考え、わかる喜びを味わえる児童の育成 ～問題解決学習を通して、互いに学び合う算数科の実践～	平成24年 2月3日 (金)
川越第一小学校	理科	個性を伸ばし、創造性を育む学習指導の充実 ～体験的な活動をとおり、科学的な思考力を伸ばす理科指導の工夫～	平成24年度
寺 尾 小 学 校	人権教育	お互いを尊重し合い、共に高め合うことができる児童の育成	平成24年度
高 階 北 小 学 校	国語科	学ぶ喜び、笑顔輝く高北っ子の育成 ～特別支援教育の視点を生かし、 コミュニケーション能力を高める国語の授業づくり～	平成24年度

教育相談事業の概要

1. 川越市立教育センター分室（リバーラ）

(1) 所在地 的場2649-1 電話 234-8333 ファクス 234-8337

(2) 沿革

昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設
 昭和53年 中央小学校内に移設（川越小学校校舎改修のため）
 昭和55年 初雁中学校内に移設（中央小学校校舎改修のため）
 昭和56年 川越小学校内に移設（川越小学校新築に伴い）
 昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設
 平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設
 平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設
 平成12年 川越市教育総合相談センター（リバーラ）の開設
 平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる
 平成22年 川越市立教育センター分室（リバーラ）の開設

(3) 設置の目的

川越小学校及び中央公民館にあった教育相談室、学校カウンセラー室、電話相談室、学校適応指導教室の各種教育相談機関を統合して、教育相談・適応指導・就学支援等の機能を充実整備するとともに、総合的な運営を図っていくため、旧第三学校給食センター施設を整備し、教育総合相談センター（リバーラ）を開設した。平成22年4月より、川越市立教育センター分室（リバーラ）となり、教育相談・特別支援教育・就学支援等の一層の充実に努めている。

このことにより、児童生徒の多様な悩みに対して、本人、保護者及び教師等にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図ることがより一層可能となった。

(4) 教育相談の内容等

幼児から高校生までの教育に係るさまざまな悩みについて、カウンセリングや遊戯療法を用いて相談援助するとともに、ことばなどの障害や就学に係る相談に応じる。また、不登校の児童生徒に対して、学校への適応指導を行う。さらに、学校との連携を図りながら解決にあたるために訪問相談を行う。

未就学児の相談（ことば・きこえ等）も受けており、必要に応じてあけぼの児童園・ひかり児童園の紹介を行う。

①相談内容

- ことばや発達の遅れに関するもの
- 性格や行動に関するもの
- 不登校傾向など学校への不適応に関するもの
- その他
- 精神的な不安や身体に関するもの
- 学齢期のしつけ等に関するもの
- 非行・問題行動に関するもの

②相談受理対象者

川越市内に居住する幼児・児童・生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員

③相談日時

月曜日から金曜日（受付時間 午前9時～午後5時）

④電話相談

月曜日から金曜日（受付時間 午前9時～午後4時）

⑤いじめ相談直通電話

- 受付時間 月曜日から金曜日（祝日を除く）、午前8時30分～午後5時30分
土曜日・日曜日・祝日・（12月29日～1月3日を除く）、午前9時～正午

⑥適応指導（小学生対象教室及び中学生対象教室）

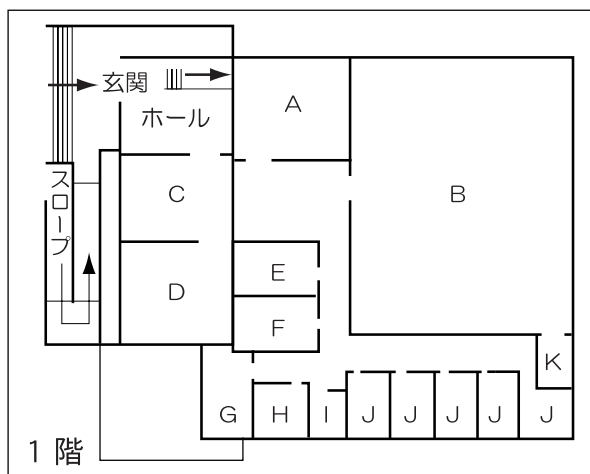
<開設日及び開設時間>

- 開設日 月曜日から金曜日（祝日を除く）
- 開設時間 午前9時30分～午後3時

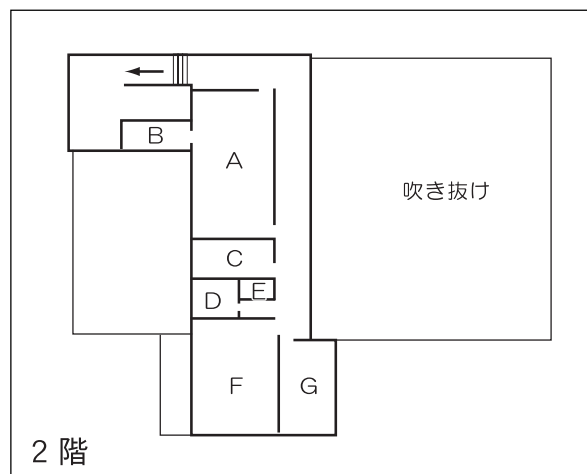
<通室までの手順及び手続き>

- 直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定

(5) 施設の概要



- A…集団活動室
B…プレイ室
C…待合スペース
D…小会議室
E…女子トイレ
F…男子トイレ
G…諸検査室兼個別相談室
H…個別相談室（サポートセンター川越相談室）
I…身体障害者用トイレ
J…個別相談室
K…体育用具室



- A…スタッフルーム
B…電話相談室
C…所長室
D…男子トイレ
E…女子トイレ
F…集団学習室 1（適応指導）
G…集団学習室 2（適応指導）

2. さわやか相談員の配置

(1) さわやか相談室設置の趣旨及び相談員の配置

埼玉県「心のオアシスづくり事業」（いじめ・不登校問題対策事業）の一環として、平成8年度から、さわやか相談室が中学校に順次設置され、平成10年度までにすべての中学校に設置された。平成19年度からは、川越市の「いきいき登校サポートプラン」の一環として、22人の川越市さわやか相談員を全市立中学校に配置している。

(2) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ①活動場所…主にさわやか相談室
- ②活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(3) 相談内容

- ①いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ②児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(4) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223－8022	砂中学校	246－1322
初雁中学校	225－8022	福原中学校	247－0022
富士見中学校	248－6722	大東中学校	247－1322
野田中学校	241－2322	大東西中学校	248－1722
城南中学校	248－6822	霞ヶ関中学校	231－7322
芳野中学校	226－8722	霞ヶ関東中学校	232－0622
東中学校	235－2622	霞ヶ関西中学校	233－3722
南古谷中学校	235－1722	川越西中学校	233－6622
高階中学校	243－2122	名細中学校	231－8822
高階西中学校	243－8122	鯨井中学校	233－6822
寺尾中学校	247－0522	山田中学校	226－5022

3. スクールカウンセラーとの連携

埼玉県の「総合的な不登校対策の推進」の一環として、平成23年度は11人のスクールカウンセラーが全市立中学校に配置されている。臨床心理に関して専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーが、教職員や保護者への指導・助言を行う。さらに、児童生徒の心の相談にあたることで、健全な児童生徒の育成を図る。

4. スチューデント・サポーターの配置

川越市の「いきいき登校サポートプラン」の一環として、地元の大学で心理学を学ぶ学生が不登校児童生徒に家庭訪問等の支援を行う。活動内容は、学校の相談室等における会話・相談や学習支援、家庭訪問による会話・相談や学習支援、リバー等施設を利用した会話・相談や学習支援、メールや電話による会話・相談などである。不登校児童生徒にとって、比較的年齢の近い学生が対応することにより、心を開き、悩みの解消の一助となることができる。

5. 不登校問題対策委員会の設置

平成19年度に設置された、大学教授、学校関係者、臨床心理士を委員とする委員会である。活動内容は、不登校問題の現状や対応について協議・検討を行い、川越市の不登校対策の在り方の方向性を定めるとともに、その予防及び適切な指導援助を推進することを目的としている。

特別支援教育の概要

1. 特別支援学級

川越市内の小中学校には、知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級、弱視特別支援学級の3種類の特別支援学級が設置されている。これらの学級には、当該学校の学区内の児童生徒だけでなく、特別支援学級を設置していない近隣の学校の児童生徒も入級している。

(1) 知的障害特別支援学級

知的な障害のある児童生徒を対象に設置されている。

- | | | | |
|------|--------------|--------------|---------------|
| ①小学校 | ●川越小学校（2学級） | ●中央小学校（1学級） | ●大塚小学校（2学級） |
| | ●月越小学校（1学級） | ●南古谷小学校（1学級） | ●高階小学校（2学級） |
| | ●高階南小学校（1学級） | ●高階北小学校（3学級） | ●霞ヶ関小学校（3学級） |
| | ●名細小学校（2学級） | ●山田小学校（1学級） | |
| ②中学校 | ●初雁中学校（2学級） | ●富士見中学校（3学級） | ●高階中学校（1学級） |
| | ●寺尾中学校（1学級） | ●霞ヶ関中学校（1学級） | ●霞ヶ関西中学校（2学級） |
| | ●名細中学校（1学級） | | |

(2) 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置されている。

- | | | | |
|------|--------------|--------------|--------------|
| ①小学校 | ●川越小学校（1学級） | ●中央小学校（2学級） | ●大塚小学校（1学級） |
| | ●月越小学校（1学級） | ●南古谷小学校（1学級） | ●高階小学校（1学級） |
| | ●高階南小学校（1学級） | ●高階北小学校（1学級） | ●霞ヶ関小学校（1学級） |
| | ●名細小学校（2学級） | | |
| ②中学校 | ●初雁中学校（1学級） | ●富士見中学校（1学級） | ●高階中学校（2学級） |
| | ●寺尾中学校（1学級） | ●霞ヶ関中学校（1学級） | ●名細中学校（1学級） |

(3) 弱視特別支援学級

視覚に障害のある児童を対象に設置されている。

- ①小学校 ●大塚小学校（1学級）

2. 通級指導教室

通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童を対象とした教室が川越小学校内に、また、通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童を対象とした教室が中央小学校・高階小学校・霞ヶ関小学校内に設置されている。各教科の指導は通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別の指導を他の指導の場で行うという「通級による指導」が実施されている。

3. 特別支援学校

川越市立養護学校は、昭和39年に開校し、昭和47年までの間に小学部、中学部、高等部と漸次拡張されてきた。しかし、昭和47年4月、県立川越養護学校が開校したのに伴い、小学部、中学部は県立に移管し、現在は高等部だけである。平成22年4月、川越市立特別支援学校に名称が変更され、整備された校舎で、社会自立をめざして生徒たちが勉学に励んでいる。

4. 就学支援委員会

専門医、学識経験者、教育関係者、行政関係者で組織し、小中学校への就学予定者及び在籍する児童生徒のうち、障害があるため、教育上特別な措置を必要とする者に対して、発達検査や相談等を行い、教育措置の適正化を期するため活動している。

5. 特別支援教育支援員（自立支援サポーター）の配置

通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を実施するために、特別支援教育支援員（自立支援サポーター）を配置している。

情 報 教 育 の 概 要

1. 目的

今日、経済・社会、生活・文化のあらゆる場面で情報化が急激な進展を遂げている。21世紀に生きる児童生徒に対し、こうした情報社会の進展に主体的に対応できる能力を身に付けさせ、情報モラルを含む情報活用能力を養うために、情報教育を推進する。

2. 情報教育の推進

- (1) 児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努める。
- (2) 情報化の進展に対応するため、コンピュータ等の新機種導入に努め、インターネット等の効果的な教育利用について、教育センターにおいて先進的な研究を行う。
- (3) 新学習指導要領に対応した周辺機器及び教育用ソフトウェアを購入し、学習指導へのコンピュータ利用の推進に生かせるように努める。
- (4) 教職員のICT活用指導力の向上を図るため、教職員研修の充実に努める。

3. 情報教育の具体的施策

- (1) 学習指導へのコンピュータ利用の研究推進
 - ①コンピュータ設置校による実践研究の推進を図る。
 - ②教具や媒体とのコンピュータの活用について研究推進を図る。
- (2) 情報機器等の効果的な活用の促進
 - ①市内の全小中学校の全てのコンピュータからのインターネット接続により、学習指導や事務管理を効果的に活用できるようにする。
 - ②データベースの構築を図り、学校、教育委員会等、教育機関の教育情報のネットワーク化の調査・研究を進める。
- (3) 周辺機器と教育用ソフトウェアの充実
 - ①マルチメディアに対応できる周辺機器や市販ソフト等の効果的な利用を図る。
- (4) 教職員研修の充実
 - ①各学校や教育センターにおける、実技研修や実践活用研修会の充実に努める。
 - ②情報教育担当者を対象とした研修を充実させ、情報教育のリーダーの養成を図る。



ホームページ更新講習会



5年社会科プロジェクト活用授業

英語指導助手配置事業の概要

1. 英語指導助手派遣事業の趣旨

今日、社会や経済のグローバル化が進展する中、国際社会でたくましく生きる日本人を育成していくことが重要課題の一つとなっている。そのために、英語指導助手（AET）を市立小・中・高等学校及び特別支援学校に配置し、児童生徒がネイティブの英語に直接触れる機会を設けるなど、今まで以上にAETを活用した授業の充実を図ることが求められる。現在、川越市姉妹都市交流事業による招致したAET、川越市内在住のAET及び民間派遣によるAETの計21名を各学校に配置している。

英語指導助手は、小学校では、英語活動の時間に学級担任教師と協力をして、児童が英語に親しむことのできる授業の充実にも努めている。中・高等学校では、英語担当教師との共同授業において「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能のバランスを取りながら、生徒のコミュニケーション能力の育成を図っている。また、児童生徒がAETを通して外国の文化に触れることにより、国際理解教育の一端を担っている。国際化の進展に対し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、英語指導助手派遣事業の充実が本市の国際化への対応に資することが期待されている。

2. 英語指導助手の配置と活用

本市では、英語指導助手の配置と活用にあたって、英語指導助手運営委員会を設置し、受け入れ体制や活用について万全を期している。

(1) 英語指導助手運営委員会の構成

委員長（1人）…校長

副委員長（1人）…校長または教頭

委員（55人）…各小学校国際理解教育担当等、各中学校・市立川越高等学校英語科主任

(2) 英語指導助手の業務

① 学校訪問による英語指導

- 各学校への訪問回数をクラス数に合わせて割り振り、年間訪問計画に基づいて各学校での指導にあたる。その際、小学校英語活動担当・中高英語担当と共に授業を実施し、生きた英語が身に付くような指導の工夫を図っている。

- 本年度は、年間を通して21人の英語指導助手が各学校での指導にあたる。

② 英語科授業づくり研修会での指導

- 英語科教員等を対象とした研修会の講師を務める。

③ 小学校英語活動指導者研修会での指導

- 小学校教員を対象とした英語活動の研修会の講師を務める。

④ AETと楽しむ英会話

- 小学校教員等を対象とした研修会の講師を務める。

⑤ 英語弁論大会の審査・指導

- 毎年秋に実施される英語祭における英語弁論大会の審査を行う。

⑥ 英語協同授業研究協議会等の指導

- 英語協同授業研究協議会の指導に当たる。

⑦ 国際交流に関する職務

- 外国語刊行物等の翻訳・校正を務める。
- 姉妹都市訪問中学生交流団の研修の講師を務める。

3. 英語指導助手配置状況の推移

(単位：人)

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
JET	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
KET	1	2	2	3	3	3	3	5	5	6	7	7	8	10	8	8	5	3	3	3	3	3	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	5	5	5	4	5
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	6	11	13	13	13	13	14	14
合計	2	3	3	4	4	4	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	21

※ JET（語学指導等を行う外国青年招致事業） KET（川越市姉妹都市交流事業） 現地（川越市在住外国人）

校種間連携教育の概要

1. 趣旨・目的

- (1) 川越市教育の一層の充実のため、小中学校等の校種間連携を進める。
- (2) 教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

2. 構成

小中連携

(下線は委嘱校)

グループ	学校名	担 当
1	川越第一中、川越第一小、初雁中、川越小 今成小、 <u>山田中</u> 、 <u>山田小</u>	教育指導課 教育センター
2	<u>富士見中</u> 、 <u>月越小</u> 、中央小 野田中、泉小、特別支援学校	教育指導課 教育センター
3	城南中、新宿小、大塚小 <u>砂中</u> 、 <u>仙波小</u> 、市立川越高	学校管理課 教育センター
4	<u>芳野中</u> 、 <u>芳野小</u> 、東中、古谷小 南古谷中、南古谷小、牛子小	教育指導課 教育センター
5	高階中、高階小、高階北小、高階西中 高階西小、 <u>高階南小</u> 、 <u>寺尾中</u> 、 <u>寺尾小</u>	教育指導課 教育センター
6	福原中、福原小、 <u>大東西中</u> 、 <u>大東西小</u> 大東中、大東東小、武蔵野小	学校管理課 教育センター
7	<u>霞ヶ関中</u> 、 <u>霞ヶ関小</u> 、 <u>霞ヶ関南小</u> 、 <u>霞ヶ関北小</u> <u>霞ヶ関東中</u> 、 <u>霞ヶ関東小</u> 、 <u>霞ヶ関西中</u> 、 <u>霞ヶ関西小</u>	学校管理課 教育センター
8	川越西中、川越西小、鯨井中、上戸小 <u>名細中</u> 、 <u>名細小</u> 、 <u>広谷小</u>	学校管理課 教育センター

中高連携

(下線は、委嘱校)

学校名	担 当
<u>市立川越高</u> 、 <u>城南中</u> 、 <u>野田中</u> 、 <u>大東中</u>	学校管理課主幹 学校管理課

3. 連携グループ配置



各 種 事 業 の 概 要

かわごえ異業種体験研修 幅広い教員の資質が求められている今日、教員以外の職を直接体験することにより、再度教育職を見直し、多面的・柔軟的な教育指導ができる教員の育成を目指す。 (1) 夏季休業中の5日間、企業での体験研修を行う。 (2) 各年度の研修参加人数は9～10名とする。 (3) 平成15年度より始まり、平成20年度までに市立学校全体から参加している。現在2巡目である。
少人数学級のための臨時講師配置事業 市立中学校において、1年生で35人を超え、かつ県の少人数学級編制に該当しない学校に、各1名の臨時講師を配置し、授業や生活面での、よりきめ細かい指導を図り、教育の充実に資している。
地域人材活用事業 川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図っている。 平成22年度の実施状況 (1) 実施回数……600回 (2) ご協力いただいた地域の方々……延べ790人 (3) 事業の一例……読み聞かせ・農業体験指導・和楽器指導・福祉体験指導・運動部活動指導 吹奏楽指導・地域の学習 等
日本語指導ボランティア派遣事業 小・中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒対象に、日本語指導ボランティアを派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解度を深め、学校生活により順応させることを図っている。 平成22年度の実施状況 市内小中学校25校に在籍する児童生徒34人にボランティア14人を派遣した。 派遣回数は659回であった。
川越市小・中学校児童生徒健全育成事業「スクールランチ作戦」 学級がうまく機能しない状況や非行・問題行動、不登校児童生徒の増加など、生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人一人に細やかな指導・支援を行うために、市内小・中学校に生徒指導推進員（スクールランチ）を配置し、学校運営の補助を行い、児童生徒一人一人に対し適切な援助を行うものである。 スクールランチは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。 (1) 児童生徒への支援、教師の補助 (2) 学校運営上の支援 (3) その他校長が必要と認める教育活動等の支援
川越市中学生社会体験事業 地域の中で社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、生徒一人一人が自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする。 (1) 実施対象……原則として、中学校第1学年または第2学年の生徒 (2) 場所・時期……原則として、学区内の事業所を最優先する・各学校が設定した2～3日間

各 種 事 業 の 概 要

トップアスリートふれあい事業 近隣大学のスポーツ分野で活躍する学生や教員を各市立小学校に招き、その指導を通して、運動することの楽しさを知るとともに基礎的な体力を育成する。 (1) 体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動 (2) 全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動
科学わくわくラーニングプログラム① ～ 小学生科学体験事業 各市立小学校6年生の児童を対象に、講演会、実験・実習、施設見学等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。(夏季休業中に実施) (1) オリエンテーション、大学関係者による講演会 (2) 小・中学校理科教員の指導による各種の実験・実習 (3) 科学施設の見学
科学わくわくラーニングプログラム② ～ 理科実験助手派遣事業 理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童生徒の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校6校 中学校3校) (1) 理科の実験・実習の準備や補助 (2) 理科室・理科準備室の整備等
科学わくわくラーニングプログラム③ ～ 小・中・大学連携理科ふれあい事業 理科の授業等に理科系の大学生・大学院生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3大学と連携・各市立小中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置) (1) 授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察 (2) クラブ活動等の課外活動における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察
川越市中学生学力調査 義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とする。あわせて、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。 (1) 調査対象・・・川越市立中学校全22校の第3学年生徒全員 (2) 調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語 (3) 調査実施予定日・・・第1回：平成23年9月5日／第2回：平成23年11月4日
学校図書館図書整理員配置 学校図書館教育の充実を図るために、臨時事務職員（図書整理員）を配置する。図書整理員は、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。 (1) 学校図書館図書の受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務 (2) 学校図書館の美化・整理事務 (3) 児童生徒の読書意欲の喚起 (4) 児童生徒や教職員への資料提供

学 校 保 健

平成23年度学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ 普通救命講習会	(5月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～3月)
○ 学校プール水質検査	(6月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(5月～3月)
○ 川越市学校保健会総会及び講演会	(7月)
○ 児童生徒脊柱側弯検査	(6月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 現地視察研修会(養護教諭)	(8月)
○ 教室等の空気検査	(8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(8月)
○ 応急手当普及員講習会	(8月)
○ 学校保健広報「わかあゆ」発行	(9月・3月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 現地視察研修会(学校薬剤師)	(10月)
○ 砂場の細菌検査	(10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

平成22年度日本スポーツ振興センター災害共済給付状況 (医療費)

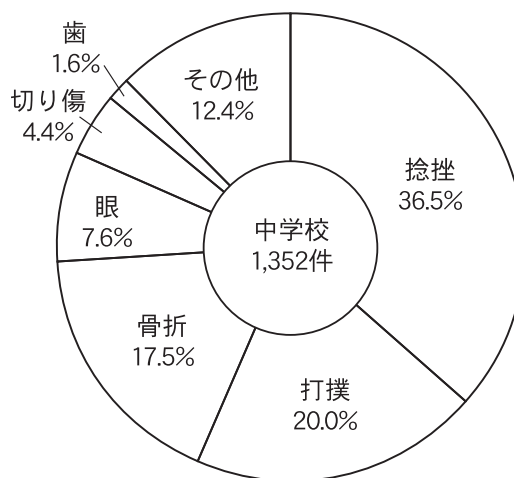
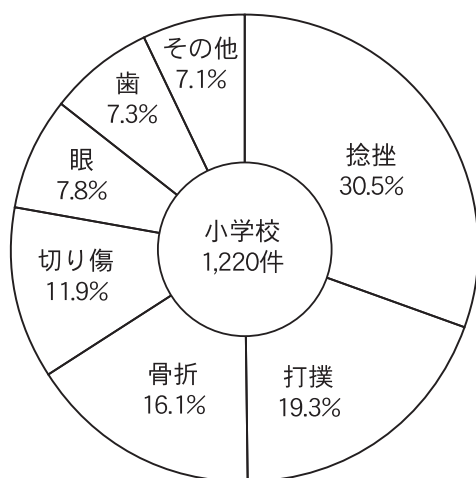
(単位:円)

月別	小 学 校		中 学 校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額		
4	184	949,318	225	1,152,535	20	307,824	429	2,409,677
5	223	1,193,631	248	1,386,014	12	234,005	483	2,813,650
6	157	1,046,411	132	829,463	20	233,095	309	2,108,969
7	158	729,778	166	992,140	16	104,890	340	1,826,808
8	153	708,252	169	1,020,867	35	283,862	357	2,012,981
9	183	1,076,178	260	1,234,325	9	75,330	452	2,385,833
10	59	273,656	78	286,873	2	8,000	139	568,529
11	175	871,528	234	1,581,668	8	32,616	417	2,485,812
12	91	449,140	202	1,545,114	26	545,317	319	2,539,571
1	137	763,054	230	1,168,243	21	85,893	388	2,017,190
2	177	978,834	200	1,427,730	14	81,478	391	2,488,042
3	104	595,501	137	764,978	35	290,882	276	1,651,361
計	1,801	9,635,281	2,281	13,389,950	218	2,283,192	4,300	25,308,423

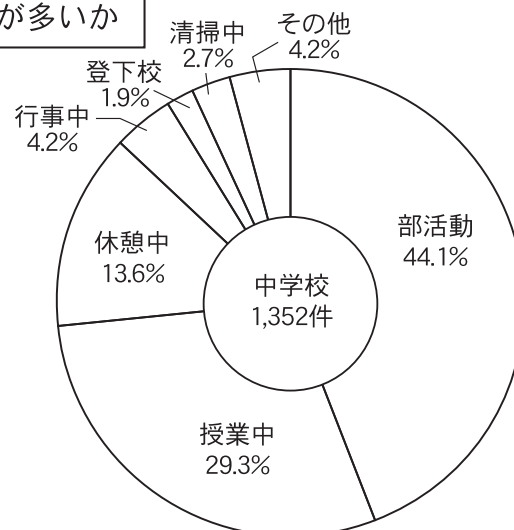
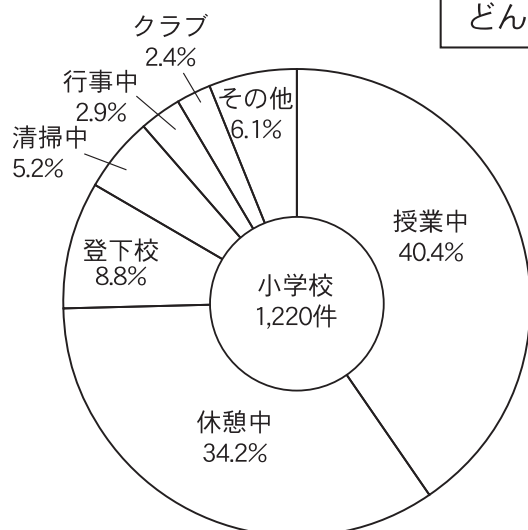
※平成18年度給付総計(延人数) 5,026 人 (給付額) 27,339,200 円
 平成19年度給付総計(延人数) 5,041 人 (給付額) 27,595,628 円
 平成20年度給付総計(延人数) 4,658 人 (給付額) 28,641,277 円
 平成21年度給付総計(延人数) 4,150 人 (給付額) 25,708,533 円

平成22年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターにかかわる事故による）

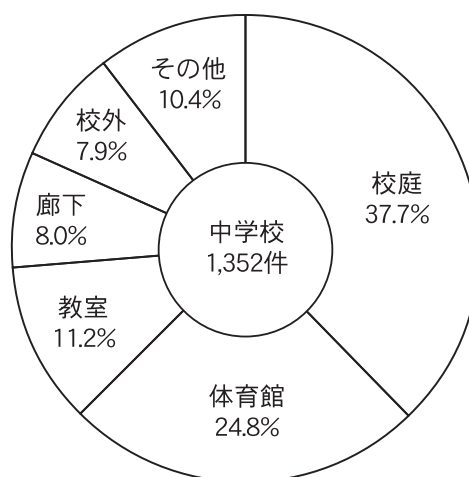
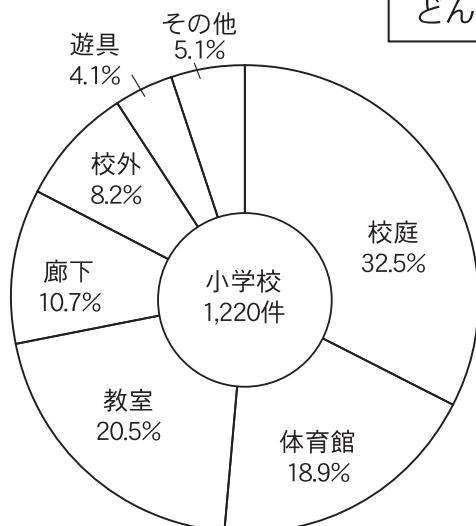
どんな負傷が多いか



どんな場合が多いか



どんな場所が多いか



児 童 ・ 生 徒 の 体 位

(平成22年度)

項目 市 県 国 別 学 校 学 年 別 性 別			身 長 (cm)				体 重 (kg)				座 高 (cm)			
			市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値
男 子	小 学 校	1	116.8	4.8	116.9	116.7	21.5	3.2	21.6	21.4	65.1	2.8	64.9	64.9
		2	122.4	5.2	122.9	122.5	23.9	3.9	23.9	24.0	67.6	2.9	67.8	67.6
		3	127.9	5.4	128.4	128.2	26.8	4.8	27.5	27.2	70.1	3.0	70.3	70.3
		4	133.7	5.7	133.7	133.5	30.4	6.0	30.8	30.5	73.0	3.1	72.7	72.7
		5	138.7	6.2	138.9	138.8	34.0	7.3	34.7	34.1	75.0	3.3	75.0	74.9
		6	144.5	7.2	144.5	145.0	37.8	8.4	38.1	38.4	77.5	3.8	77.4	77.6
	中 学 校	1	152.2	7.9	152.5	152.4	43.7	9.6	43.7	44.1	81.2	4.4	81.0	81.3
		2	159.1	8.1	159.4	159.7	48.6	9.9	48.4	49.2	84.8	4.7	84.6	85.0
		3	165.4	7.0	165.2	165.1	54.4	10.1	54.0	54.4	88.2	4.1	88.0	88.1
	高 校	1	169.5	—	168.0	168.2	61.6	—	59.7	59.5	90.3	—	90.2	90.3
		2	171.0	—	170.3	169.9	60.8	—	61.4	61.5	91.7	—	91.3	91.3
		3	171.7	—	170.9	170.7	62.5	—	63.3	63.1	91.8	—	91.7	91.9
	特 別 支 援	1	164.4	—	—	—	61.4	—	—	—	88.6	—	—	—
		2	167.3	—	—	—	64.0	—	—	—	88.0	—	—	—
		3	168.3	—	—	—	64.7	—	—	—	91.2	—	—	—
女 子	小 学 校	1	115.9	4.9	115.7	115.8	21.1	3.3	20.9	21.0	64.6	2.8	64.4	64.5
		2	121.7	5.0	121.6	121.7	23.5	3.9	23.8	23.5	67.3	2.9	67.1	67.3
		3	127.3	5.5	127.2	127.4	26.5	4.7	26.5	26.5	69.9	3.1	69.7	70.0
		4	133.6	6.3	133.5	133.5	30.0	6.0	30.0	30.0	73.0	3.5	72.7	72.7
		5	140.1	6.7	140.2	140.2	33.7	6.2	34.3	34.1	76.0	3.7	75.8	75.9
		6	146.7	7.1	146.6	146.8	38.9	8.3	38.3	39.0	79.3	4.2	79.1	79.2
	中 学 校	1	151.9	6.1	152.2	151.9	43.6	8.1	43.8	43.8	82.4	3.7	82.0	82.1
		2	154.8	5.5	155.2	155.0	47.3	8.1	47.0	47.3	83.8	3.4	83.7	83.8
		3	156.8	5.4	156.7	156.5	50.0	7.9	49.4	50.0	85.2	3.1	84.7	84.8
	高 校	1	157.6	—	156.8	157.1	51.8	—	51.6	51.6	85.1	—	85.0	85.3
		2	158.5	—	158.2	157.7	52.6	—	52.7	52.7	85.2	—	85.6	85.6
		3	158.8	—	157.9	158.0	52.1	—	52.5	52.9	85.8	—	85.7	85.8
	特 別 支 援	1	155.7	—	—	—	49.7	—	—	—	85.0	—	—	—
		2	155.3	—	—	—	59.0	—	—	—	86.9	—	—	—
		3	157.2	—	—	—	58.3	—	—	—	87.2	—	—	—

※県・全国の平均値は、平成22年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の約1.9%を抽出。市は全児童生徒。

児童・生徒の「新体力テスト」 平均値

(平成22年度)

項 目 名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走 (秒)	男	県	11"53	10"70	10"13	9"70	9"30	8"90	8"54	7"94	7"55
	子	川越市	11"57	10"78	10"20	9"67	9"40	8"96	8"51	7"86	7"48
	女	県	11"86	11"02	10"45	9"99	9"54	9"15	8"99	8"70	8"67
	子	川越市	11"98	11"04	10"56	10"04	9"63	9"21	9"00	8"71	8"64
立幅跳び (cm)	男	県	113.91	122.52	134.50	144.29	153.94	162.83	177.82	198.44	212.30
	子	川越市	110.98	126.52	134.99	144.04	155.31	160.78	179.86	198.72	211.76
	女	県	107.95	120.36	130.18	140.35	149.68	158.49	165.73	171.89	173.50
	子	川越市	103.05	114.99	124.91	136.54	145.87	154.15	161.04	167.11	172.14
ボール投げ (m)	男	県	8.61	12.05	15.74	19.77	23.67	27.32	18.50	21.63	24.29
	子	川越市	8.53	11.73	15.81	19.85	23.28	26.60	19.43	22.73	25.51
	女	県	5.87	7.65	9.66	11.81	13.99	16.23	12.18	13.60	14.61
	子	川越市	5.81	7.57	9.47	11.52	13.55	15.92	12.56	13.80	14.89
握 力 (kg)	男	県	9.20	10.89	12.69	14.51	16.64	19.33	24.22	30.35	35.85
	子	川越市	9.33	11.03	12.69	14.47	16.74	19.22	24.29	30.26	35.81
	女	県	8.66	10.25	11.93	13.84	16.30	19.25	22.16	24.70	26.07
	子	川越市	8.80	10.28	11.84	13.77	16.44	19.19	22.40	24.61	25.97
上体起こし (回)	男	県	11.83	14.57	16.66	18.65	20.71	22.39	25.62	29.51	31.79
	子	川越市	11.72	14.41	16.53	18.33	20.73	22.06	25.62	29.80	32.24
	女	県	11.20	13.79	15.93	17.71	19.50	20.67	22.48	25.35	26.30
	子	川越市	10.59	13.29	15.44	17.09	18.96	20.10	21.69	25.44	26.76
長座体前屈 (cm)	男	県	26.07	27.80	29.68	31.48	33.33	35.46	41.39	46.22	49.51
	子	川越市	27.08	27.75	29.88	31.80	33.13	34.51	41.61	44.71	48.24
	女	県	28.58	30.76	33.19	35.26	37.96	40.59	44.88	47.46	49.16
	子	川越市	29.55	30.91	33.20	35.02	37.78	39.75	45.21	46.86	49.42
反復横とび (回)	男	県	27.69	31.75	35.60	39.60	43.43	46.52	48.64	51.97	54.52
	子	川越市	26.80	29.50	33.88	38.07	42.23	45.50	47.82	50.86	53.89
	女	県	26.37	30.11	33.66	37.60	41.33	43.87	44.58	46.00	46.48
	子	川越市	25.19	28.34	32.27	36.12	39.75	42.81	43.33	44.78	45.95
20mシャトルラン (回)	男	県	19.16	29.01	38.34	47.61	56.19	63.80	—	—	—
	子	川越市	17.48	26.98	36.15	46.46	56.33	62.65	—	—	—
	女	県	16.19	22.49	29.12	36.46	44.50	51.36	—	—	—
	子	川越市	14.53	21.30	27.75	34.64	42.87	50.76	—	—	—
持久走 (分秒)	男	県	—	—	—	—	—	—	6' 50"80	6' 02"40	6' 10"00
	子	川越市	—	—	—	—	—	—	6' 51"28	6' 25"16	6' 09"67
	女	県	—	—	—	—	—	—	4' 08"20	4' 00"00	4' 03"90
	子	川越市	—	—	—	—	—	—	4' 48"62	4' 42"03	4' 44"57

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、シャトルランと持久走の選択。
 ※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

学 校 給 食

《菅間学校給食センター》

- ・住 所……川越市菅間18－9
- ・設 立……平成17年8月
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……小学校20校
- ・敷地面積……9,908.41m²
- ・建物面積……5,715.39m²



《今成学校給食センター》

- ・住 所……川越市今成2－35－5
- ・設 立……昭和44年（平成5年改築）
- ・給食規模……12,000食
- ・対象学校……中学校22校・特別支援学校1校
- ・敷地面積……5,492.74m²
- ・建物面積……3,377.49m²



《藤間学校給食センター》

- ・住 所……川越市藤間948－1
- ・設 立……昭和56年
- ・給食規模……8,000食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……4,725.91m²
- ・建物面積……1,830.24m²



《吉田学校給食センター》

- ・住 所……川越市吉田444
- ・設 立……昭和59年
- ・給食規模……5,600食
- ・対象学校……小学校6校
- ・敷地面積……3,754.00m²
- ・建物面積……1,683.62m²



平成23年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(平成23.5.1現在)

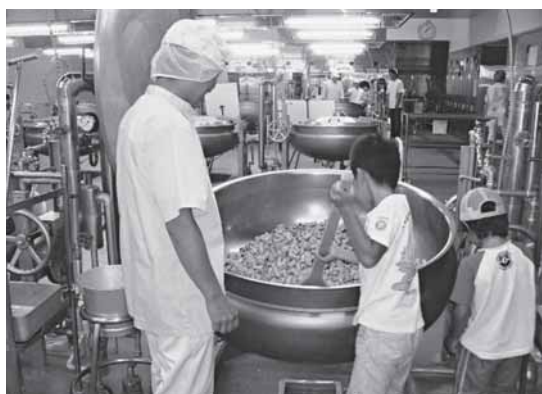
センター名	給食数	小・中別	対 象 校
菅間学校給食センター	11,660食	小 学 校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
藤間学校給食センター	4,082食	小 学 校 6校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原
吉田学校給食センター	3,121食	小 学 校 6校	霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
今成学校給食センター	9,403食	中 学 校 22校 特別支援学校 1 校	川越第一・初雁・富士見・野田・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井・山田・特別支援学校
合 計	28,266食	55校	

学校給食の内容

1. 食育

川越市では「食育」に関して次のものを行っている。

- (1) 創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図っている。
 - 市内小学校の2年生約3,000人を対象に年2回実施
- (2) 学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努めている。
- (3) 学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努めている。
 - 児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報誌「いきいき」などを発行
 - 夏休みを利用した親子料理教室の開催や、学校給食をより理解してもらうことを目的とした学校給食センター見学会の開催
- (4) 学校との連携を図り、学校の「食に関する指導の全体計画」に基づいた食育の推進に努めている。
 - 学校給食研究会…学校給食の振興充実を図ることを目的とし、学校における給食指導、児童生徒の栄養改善に関する調査、学校給食・運営管理に関する調査を行っている。市内小・中・特別支援学校の校長と給食主任で組織され、給食指導や管理運営についての研究会を主催している
 - 試食会…児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実を図るために実施。平成22年度は52回の開催で約2,100人が参加
- (5) お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、巨峰、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努めている。



学校給食センター見学会



夏休み料理教室

2. 学校給食費

区 分	月 額	年 額	徴収月数	平均給食日数	1食当たり単価	備 考
小学校	4,000円	44,000円	11か月	188日	234円04銭	平成21年11月改定
中学校	4,900円	53,900円	11か月	188日	286円70銭	平成21年11月改定

1食当たり単価（保護者負担額）

区 分	主 食	牛 乳	副 食	計	備 考
小学校	49円01銭	200cc 46円11銭	138円92銭	234円04銭	平成21年11月改定
中学校	65円43銭	200cc 46円11銭	175円16銭	286円70銭	平成21年11月改定

3. 学校給食摂取基準

学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。

現行の基準は平成20年10月に改訂され、次のように定められている。

区 分	小 学 校 児 童 の 場 合			中学校生徒の場合
	低学年(6～7歳)	中学年(8～9歳)	高学年(10～11歳)	
エネルギー (kcal)	560	660	770	850
たんぱく質 (g)	10～25	13～28	17～30	19～35
脂 肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	2未満	2.5未満	3未満	3未満
カルシウム (mg)	300	350	400	420
鉄 (mg)	3	3	4	4
ビタミンA (μgRE)	130	140	170	210
ビタミンB1 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.5	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	23	26	33
食 物 繊 維 (g)	5.5	6.0	6.5	7.5

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童(6～7歳)70mg・(8～9歳)80mg・(10～11歳)110mg、中学校生徒140mg

亜鉛……………児童(6～9歳)2mg・(10～11歳)3mg、中学校生徒3mg

4. 食材の安全確保

安心・安全でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努めている。

給食指導資料

学校給食課企画・製作による次の資料が備えられている。

- 学校給食センターの1日
- こんなにおおくなりました！！ のこさずたべてくださいね(川越産枝豆)
- おこめにつき(川越産米)
- ぼくがだれだかわかるかな？ かわごえの畑ですくすく育っているよ(川越産とうもろこし)
- しょうゆができるまで(川越産大豆使用のしょうゆ)
- みつばの成長日記(川越産みつば)
- 川越の名産 私は何でしょう 秋にほくほく！(川越産さつま芋)

社会教育の充実

目標

学校・家庭・地域の連携をさらに進め、地域ぐるみの教育を振興し、児童・生徒の「生きる力」を育む教育を推進するとともに、社会教育の充実を図るため、市民の学習環境の整備や機会を総合的に整備していきます。

1. 青少年教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
ジュニアリーダースクール	子ども会の基礎的な理論・活動展開の在り方・実技指導の方法等を継続的に学習することにより、子ども会ジュニアリーダーとして必要な知識、技能を身に付け、川越市ジュニアリーダースクラブの一員として活躍できる青少年を育成する。
子ども会育成委託事業	子ども会の健全な育成とその発展を図るため、校区子ども会育成団体連絡協議会に子ども会育成事業を委託する。 ・委託先：校区子ども会育成団体連絡協議会（小学校区27・中学校区1）
育成者研修会	子ども会育成者としての資質向上と単位子ども会活動の振興を図る。
棚倉町交流事業	友好都市交流事業に参加することにより、他県の環境に親しみ、視野を広め協調性・自主性を育て健全なる成長に資する。
子ども会かるた大会	子ども会員が一堂に集まり、「かわごえ郷土カルタ」を活用して「5つのめあて」を基に競技を行う。なお団体・個人とも上位4チーム（人）は川越市代表として、彩の国21世紀郷土かるた県大会へ出場し、県内子ども会代表選手と競いあうとともに、交流を深めることを目的とする。
子ども会育成会補助金交付事業	子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ相互の連絡協調を図り、その向上発展を期するため、川越市子ども会育成団体連絡協議会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市子ども会育成団体連絡協議会 ・団体数：28団体 会員数：21,511人



ジュニアリーダースクール



川越市かるた大会

2. 家庭教育の充実

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
P T A運営講座	小・中学校P T A常置委員の研修を深めて、P T A活動の充実、推進を図り、各P T Aの行う常置委員会活動の向上発展を期して指導者の養成を図る。
家庭教育学級	P T A会員に対して、家庭教育に関する学習の機会を提供するため、各小・中学校P T Aが開催する家庭教育学級を支援する。 ・委託先：各小・中学校P T A
子ども情報誌発行事務	子どもたちの休日における体験活動を豊かにするため、「かわごえし子ども情報誌小江戸探検隊」を編集協力員（市民）の協力により発行する。
高校説明会	埼玉県内の公立高校及び県内・都内の私立高校の中から、市内中学生の進学者数上位校のうち公立24校、私立23校の47校を選び、その学校から生徒募集要項、教育方針、卒業生の進路状況等についての合同説明会を開催し、進路指導・進路選択の参考とする。
P T A研究集会	各学校・P T Aの活動の成果や諸問題について、23年度の川越市P T A連合会の活動目標・方針に基づき、自主的に研究討議しP T A活動の充実を図る。
P T A講演会	児童生徒の健全な成長における家庭教育の役割と家庭での望ましい対応の在り方について理解を深める。
親の学習講座	多くの保護者が集まる効果的な機会を活用して「親が親として育ち、力をつけるための学習」を実施し、家庭の教育力の向上を図る。
幼・保・高家庭教育講座	子どもの年齢に応じた子育て・しつけの方法についての講話や、親同士の意見交換など、保護者に家庭での教育を見直してもらうための学習情報・学習機会を提供し、保護者と子どもが共に育ち合う環境づくりを進める。
P T A連合会補助金交付事業	川越市P T A連合会会員の意識高揚を図るとともに、青少年の健全育成を図るため、連合会が行う事業に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 ・補助対象団体：川越市P T A連合会 ・団体数：54団体 会員数：23,421人

3. 社会教育一般事務

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
社会教育委員協議会	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問の対応や必要な研究調査を行うため、定時又は臨時に開く会議。定例会年6回程度。
障害者対応事業研修会	社会教育に携わる市職員を対象に、障害者に対応できる事業を実施するにあたり、障害者を理解するための研修会を開催し、障害者が広く参加することのできる事業の充実を図る。
社会教育主事研修派遣	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター実施の社会教育主事講習に職員を派遣する。

4. 川越子どもサポート推進

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
子どもサポート事業	子どもたちの生きる力を育むため、学社連携・融合を基盤として、家庭、学校、社会教育施設、地域社会が一体となって、子どもたちの様々な活動を支援する。 ・ 子どもサポート本部会議・子どもサポート発表会 ・ 小江戸見つけ隊作品募集
学校応援団事業	地域が学校の授業や行事、環境整備等に参加することにより、学校が特色ある教育活動を展開できるようにするとともに、地域の教育力を向上させ活力ある地域づくりを推進する。
地域教育推進事業	子どもたちが生きる力を身につけ、たくましく育ちゆくための支援の在り方を協議し、各機関や団体が連携を強め、地域ぐるみの教育を推進する社会環境を整備する。 ・ 川越市地域ぐるみ教育推進ネットワーク会議

5. 人権教育推進協議会

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
人権教育推進協議会	川越市における人権教育の振興を図り、より良い地域社会づくりに寄与するため川越市人権教育推進協議会を設置する。
人権教育実践報告会	同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の積極的な推進を図る。実践報告にもとづいて意見交換をすることにより、人権教育の一層の充実に資する。

6. 小堤集会所運営管理

①小堤集会所施設の状況

建 築 年 度	敷 地 面 積	延 床 面 積	所 在 地	電 話 番 号
平成8年度	343.81㎡	290.66㎡	川越市小堤784	231-0534

②事業の概要

主 な 事 業	趣 旨 ・ 事 業 内 容 等
運営委員会	集会所における各種の事業の企画・実施について協議する。
施設管理	集会所建物の修繕や清掃業務等の管理を行う。



子どもサポート事業 小江戸見つけ隊作品展



学校応援団

7. 人権教育の充実

主 な 事 業	趣旨・事業内容等
P T A・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会	同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく理解するとともに、人権を尊重する教育の重要性について認識を深める。各 P T A 及び子ども会育成会における人権教育の推進に資する。
啓発資料作成委員会	人権教育啓発資料の充実を図り、資料活用による人権教育啓発活動の推進に寄与する。
地区推進事業	公民館と学校・当該 P T A を一単位として公民館区全体で人権教育に取り組むように、毎年公民館 3 ～ 4 館と学校 1 1 校を指定し、市内全域に順次委嘱する。
小堤集会所まつり	集会所事業における各教室・講座で得られた学習成果を互いに発表し合い、広く大勢の人に集会所事業への関心を持っていただくとともに、相集い、相和して楽しいひとときを持ち、触れ合いの輪を広げていく。
小堤集会所事業	①集会所周辺住民の自主的組織的教育活動を助長し、教育・文化水準の向上を図る。 ②集会所の利用をとおして、集会所周辺住民の人権問題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図る。 ③地域住民相互の交流をとおして、よりよい人間関係を醸成する。 ・指導者養成講座 5 回 ・成人学習講座 5 回 ・習字教室 24 回 ・高齢者学級 5 回 ・女性講座 5 回 ・カラオケ教室 22 回 ・フレンズスクール 8 回 ・普通救命講習 1 回
人権教育推進事業校委嘱	(小学校) 古谷・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関西・高階・高階北 (中学校) 東・霞ヶ関・霞ヶ関西・高階 (公民館) 古谷・霞ヶ関・高階
人権作文・標語・絵画公募事業	作文・標語や絵画制作への取組をとおして、児童生徒の人権への関心を高め、自らの生き方を考えさせるとともに、作品を広く紹介し、より多くの人の人権意識の高揚を図る。
人権カレンダー作成事業	しおり形式のカレンダーに児童生徒の人権標語と絵画を掲載し、市内各家庭への配布をとおして、市民の人権意識の高揚を図る。

8. 公民館建設の推進

主 な 事 業	趣旨・事業内容等
仮称霞ヶ関西公民館建設推進	仮称霞ヶ関西公民館については、施設機能等について検討するため、関係団体と協議する。
仮称西公民館建設推進	仮称西公民館については、建設予定地等について検討するため、関係団体と協議する。
霞ヶ関北公民館建設推進	霞ヶ関北公民館の移転改築となる公民館について検討するため、関係団体と協議する。

9. コミュニティセンター運営管理

①福原コミュニティセンター

建築年度	敷地面積	延床面積	所 在 地	電話番号	平成22年度利用状況	
昭和54年度	2,975.18㎡	169.57㎡	川越市今福481-3（福原公民館内）	242-5005	457件	5,038人
施 設 の 概 要			ボランティアビューロー、談話室、集会室、器材室			

②事業の概要

主 な 事 業	趣旨・事業内容等
運営委員会	庶務は福原公民館、予算管理は地域教育支援課

公 民 館

生涯の各時期に生じる課題や社会的に要請される現代的課題の学習に取り組むとともに、地域の教育力の向上や多様な学習の機会の創設を図り、市民の生涯学習を支援する。また、社会教育機関としての機能を発揮するため、運営体制や施設設備の整備、充実を図る。

1. ライフステージにおける課題の学習機会の充実を図る

- (1) 青少年教育の充実
 - 「生きる力」をはぐくむ野外教育プログラムなどの事業を進める
- (2) 家庭教育の充実
 - 家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する
- (3) 成人教育の充実
 - 家庭生活の充実や親の扶養などの生活課題と向き合う講座等の開催に努める
 - ボランティア活動などの社会参加を想定した教育プログラムの提供に努める
- (4) 高齢者教育の充実
 - 充実した日々を過ごすためのふれあいや学びの場を提供する

2. 現代的課題の学習機会の充実を図る

- (1) 人権学習の推進
 - 様々な人権問題について学ぶ場を提供する
- (2) 環境学習の充実
 - 日常生活と環境問題のつながりが意識できるプログラムの提供に努める

(3) 子育て支援の充実

- 子育てサロンの全市的展開を進める

(4) 情報学習の充実

- パソコン講座を全市的に開催する

(5) 地域に関する学習の推進

- 地域の歴史や文化、地域課題などを題材とした講座等の開催に努める

3. 地域の教育力の向上を図る

- (1) 地域の教育活動を支援する
- (2) 町内公民館講座の開設を支援する

4. 運営体制の充実を図る

- (1) 効率的な運営管理に努める
- (2) 公民館運営協力委員制度の活用を図り、公民館運営審議会の充実を図る
- (3) 職員研修を充実し、資質を高める

5. 既存公民館の施設設備の整備、充実を図る

- (1) 施設設備の整備、充実に努める
- (2) 施設の大規模改修を計画的に進める

市内公民館（17館 1 分館 1 分室）

（平成23. 5. 1現在）

施 設 名	所 在 地	電 話	建 物 の 概 要		
			構 造	面 積	建 築 年 度
中 央 公 民 館	三久保町18-3	222-1394	鉄筋3階の1階	581.12㎡	昭和43～44
さわやか活動館	的場2649-1	237-4890	鉄骨2階	998.88㎡	平成12（改築）
中央公民館分室	六軒町2-15-1	224-1343	木造1階	169.53㎡	昭和14（移築）
南 公 民 館	新宿町1-12-8	243-0038	軽量鉄骨1階	258.36㎡	平成21
北 公 民 館	氷川町107	222-1400	鉄筋2階	1,018.86㎡	平成2～3
芳 野 公 民 館	北田島119-2	222-1873	鉄筋2階	472.04㎡	昭和44
古 谷 公 民 館	古谷上3830-2	235-1834	鉄筋2階	575.68㎡	昭和45
南古谷公民館	今泉371-1	235-1519	鉄筋2階	662.86㎡	昭和51
高 階 公 民 館	藤間27-1	242-6064	鉄筋2階の一部	1,086.67㎡	平成18～19
高階南公民館	藤原町23-7	245-3581	鉄筋2階	1,373.42㎡	昭和55
福 原 公 民 館	今福481-3	242-5005	鉄筋2階	859.32㎡	昭和53
大 東 公 民 館	南大塚1-14-12	243-0022	鉄筋2階	654.37㎡	昭和47～48
大東南公民館	南台3-4-3	242-0498	鉄筋2階	1,059.35㎡	昭和58～59
霞ヶ関公民館	笠幡177-1	231-1009	鉄筋3階の1階	787.55㎡	昭和50～51
霞ヶ関北公民館	的場北1-18-6	231-4455	鉄筋2階	877.93㎡	昭和49
伊勢原公民館	伊勢原町5-1-1	237-5676	鉄筋2階の2階	736.30㎡	平成12～13
川 鶴 公 民 館	川鶴2-8-3	233-9306	鉄筋2階	1,030.54㎡	昭和63
名 細 公 民 館	小堤662-1	231-0001	鉄筋2階	1,696.84㎡	平成20～21
山 田 公 民 館	山田161-7	224-4194	鉄筋2階	584.47㎡	昭和46

主催事業実施状況①（平成22年度）

（回数の（ ）内は講座等の事業数／参加者人数は延べ参加者数）

施 策 公民館名	青少年教育 の 充 実		家庭教育 の 充 実		成人教育 の 充 実		高齢者教育 の 充 実		ライフステージ における課題計		人権学習 の 推 進		環境学習 の 充 実	
	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数
中 央	(3)	33	(1)	3	(2)	18	(6)	217	(12)	271	10,004		(1)	6
南	(1)	7	(3)	18	(6)	122	(1)	15	(11)	162	2,518	(1)	1	53
北	(1)	8	(1)	5	(5)	30	(4)	32	(11)	75	1,723	(1)	5	373
芳 野			(2)	5	(6)	21	(1)	12	(9)	38	1,009	(1)	4	136
古 谷	(1)	8	(2)	6	(3)	19	(1)	8	(7)	41	1,035	(1)	6	214
南古谷	(1)	2	(2)	10	(4)	15	(3)	18	(10)	45	820	(1)	5	140
高 階	(2)	12	(1)	8	(3)	28	(1)	14	(7)	62	2,789	(1)	6	352
高階南	(1)	3	(4)	20	(2)	20	(1)	15	(8)	58	2,170	(1)	1	45
福 原	(1)	3	(4)	12	(3)	15	(1)	11	(9)	41	1,268	(1)	5	152
大 東			(1)	4	(4)	5	(2)	18	(7)	27	938		(1)	1
大東南	(1)	1	(1)	12	(4)	24	(1)	12	(7)	49	2,430	(1)	2	68
霞ヶ関	(4)	12	(1)	5	(6)	36	(1)	8	(12)	61	1,560	(1)	3	26
霞ヶ関北			(1)	4	(3)	23	(1)	14	(5)	41	1,847	(1)	2	485
伊勢原	(4)	17	(2)	4	(2)	4	(1)	15	(9)	40	3,522	(1)	2	89
川 鶴			(1)	6	(3)	50	(1)	4	(5)	60	1,228	(1)	6	72
名 細	(1)	6	(3)	16	(5)	94	(1)	16	(10)	132	1,672	(1)	3	119
山 田			(2)	2	(5)	18	(1)	10	(8)	30	533	(1)	4	140
計	(21)	112	(32)	140	(66)	542	(28)	439	(147)	1,233	37,066	(15)	55	2,464

主催事業実施状況②（平成22年度）

（回数の（ ）内は講座等の事業数／参加者人数は延べ参加者数）

施 策 公民館名	子育て支援 の 充 実		情報学習の充実		地域に関する 学習の推進		現代的課題計		地域教育 活動の支援		会議等	合計	施 設 利 用	
	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	参加者 人 数	参加者 人 数	件 数	利用者 人 数
中 央	(6)	46	(3)	5	(1)	1	(11)	58	(4)	27	372	790	13,412	5,907
南	(1)	22	(1)	2	(1)	5	(5)	33	(2)	15	80	29	3,355	2,484
北	(2)	27	(3)	6	(1)	3	(13)	60	(8)	22	632	132	5,048	2,815
芳 野	(1)	12	(3)	6	(1)	3	(7)	27	(10)	17	868	257	2,924	836
古 谷	(3)	20	(2)	4	(1)	1	(8)	33	(4)	4	827	45	2,796	1,028
南古谷	(1)	11	(4)	8	(1)	12	(9)	43	(7)	10	4,662	113	6,656	2,010
高 階	(3)	17	(4)	8	(1)	4	(10)	40	(9)	13	637	87	5,619	5,466
高階南	(7)	21	(4)	8	(2)	3	(15)	34	(11)	89	1,722	115	5,554	4,094
福 原	(1)	24	(3)	6	(2)	6	(8)	42	(2)	2	133	135	2,620	1,414
大 東	(2)	29	(3)	6			(6)	36	(1)	9	225	71	2,495	1,983
大東南	(1)	36	(3)	6	(1)	2	(7)	50	(7)	79	965	205	5,400	2,752
霞ヶ関	(1)	19	(3)	15	(5)	6	(11)	46	(6)	6	208	158	3,628	1,719
霞ヶ関北	(1)	20	(3)	6	(1)	1	(7)	30	(2)	6	600	109	3,799	3,215
伊勢原	(1)	12	(3)	6	(1)	1	(7)	22	(8)	34	950	280	5,337	3,597
川 鶴	(2)	22	(4)	8	(1)	1	(9)	41	(5)	31	251	150	2,650	2,601
名 細	(2)	14	(2)	4	(1)	2	(8)	30	(3)	6	287	89	2,892	3,724
山 田	(1)	10	(3)	6	(1)	2	(7)	24	(3)	8	334	53	1,691	1,369
計	(36)	362	(51)	110	(22)	53	(148)	649	(92)	378	13,753	2,818	75,876	47,014

※施設利用の中央公民館には「さわやか活動館」「分室」、伊勢原公民館には「霞ヶ関北小学校特別教室」の数を含む。

※ライフステージにおける課題計は、青少年教育の充実、家庭教育の充実、成人教育の充実、高齢者教育の充実の小計。

現代的課題計は、人権学習の推進、環境学習の充実、子育て支援の充実、情報学習の充実、地域に関する学習の推進の小計。

図 書 館（視聴覚ライブラリー）

市民の多様な学習要求にこたえるため、生涯学習に必要な各種資料の充実、図書館網の整備、施設・設備の効果的活用を図り、市民生活の向上と地域文化の発展に寄与する。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 図書館サービス網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ●図書館分館計画の推進 ●図書館ネットワーク網の整備、充実 (2) 図書館資料の収集・整備 <ul style="list-style-type: none"> ●参考図書・基本図書の充実 ●地域資料の整備 ●利用者のニーズに応じた資料収集 (3) サービス内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●レファレンスサービスの充実 ●乳幼児・児童サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ●障害者サービスの充実 (4) 地域文化創造の推進 <ul style="list-style-type: none"> ●講演会・講座の実施 (5) 視聴覚ライブラリーの整備、充実 (6) 学校との連携による児童の読書活動の推進（西図書館） (7) 通勤・通学者へのサービスの充実（川越駅東口図書館） (8) 地域図書館における個人学習・研究活動の支援（高階図書館） |
|--|---|

施設概要

（ ）は司書

施設名	所在地	電 話	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
				構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長	主査	事務職員	計
中央図書館	三久保町2-9	222-0559	4,296.37㎡	鉄筋地上3階地下1階	5,931.27㎡	昭和59年	1 (1)	1 (1)	6 (2)	18 (7)	26 (11)
西図書館	伊勢原町5-1-1	237-5660	2,220.75㎡	鉄筋2階の1階	2,068.60㎡	平成14年	1 (0)		1 (1)	6 (4)	8 (5)
川越駅東口図書館	菅原町23-10	228-7712	662.68㎡	鉄筋6階の1・2・3階	1,315.87㎡	平成14年	1 (0)		1 (1)	6 (2)	8 (3)
高階図書館	藤間27-1	238-7550	8,417.25㎡	鉄筋2階の2階	1,235.71㎡	平成20年	1 (0)		1 (1)	6 (2)	8 (3)

※西図書館の敷地面積は、霞ヶ関北小学校複合施設棟の建築面積を記載。

※高階図書館の敷地面積は、高階市民センターの建築面積を記載。

資料の利用状況（貸出点数）

（平成22年度）

種別 場所	一 般	児 童	郷土	雑 誌	A V	計
中央図書館	279,988	144,117	3	28,865	21,441	474,414
(内)霞ヶ関南分室	(4,193)	(888)	0	(1,003)	(81)	(6,165)
西 図 書 館	339,119	158,410	0	30,935	65,008	593,472
川越駅東口図書館	208,340	78,252	0	25,286	44,422	356,300
高階図書館	230,497	129,793	0	25,800	99,238	485,328
計	1,057,944	510,572	3	110,886	230,109	1,909,514

施設の利用状況

（平成22年度）

施設名	利用件数	利用人数
展 示 室	37	10,363
視 聴 覚 ホール	119	7,321
グループ研究室	71	808
講 座 室	31	1,026
計	258	19,518

レファレンス件数（平成22年度）

	レファレンス	所蔵調査	計
口頭	42	48	90
電話	23	6,799	6,822
文書	1	2	3
計	66	6,849	6,915



中央図書館



西図書館



川越駅東口図書館



高階図書館

蔵書の状況

(平成23. 3. 31現在)

中央図書館	一般図書	338,527	西図書館	一般図書	92,820
	児童図書	122,604		児童図書	37,620
	郷土資料	22,749		A V 資料	11,359
	近世史料	111		障害資料	4,228
	和書	10,041		一般図書	41,611
	貴重図書	208		児童図書	21,759
	その他	48		A V 資料	11,645
	障害資料	381		一般図書	51,859
	A V 資料	7,015		児童図書	20,647
	マイクロ資料	1,801		A V 資料	8,189
合 計			805,270		

障害者サービス状況

(平成22年度)

区分 施設名	対 面 朗 読			新 規 所 蔵 資 料			録 音 資 料		点 字 資 料	
	利用者 数	実 数	時 間	録音受入 資料	プライベート 資料作成	点字資料 (タイトル)	貸 出	借 受	貸 出	借 受
中央図書館	18	3	38.0	0	(25) 101	0	0	(255) 263	25	1
西 図 書 館	43	5	140.5	(27) 27	(25) 25	0	0	(1,835) 2,064	0	12
川越駅東口図書館	148	7	363.5	0		0	(473) 485	0	0	0
高階図書館	5	1	9.0	0		0	0	0	0	0
合 計	214	16	551.0	(27) 27	(50) 126	0	(473) 485	(2,090) 2,327	25	13

※ () 内はタイトル数。

視聴覚ライブラリー

設置年度	所 在 地	電 話 番 号
昭和51年度	川越市三久保町2-9 (中央図書館内)	222-0559

主な所有機材と利用状況

(平成22年度)

種 類	所 有 数	利 用 数	種 類	所 有 数	利 用 数
16ミリフィルム	696本	952本	O H P	2台	21台
16ミリ映写機	17台	377台	D V D デ ッ キ 等	6台	43台
スライド映写機	2台	3台	ス ク リ ー ン	9台	77台
O H C	2台	2台	ビデオプロジェクター	2台	75台

博 物 館

市制施行60周年記念事業の一環として、生涯学習の中心施設となる博物館が設立された。
市内に残る歴史的遺産の収集・保存、調査・研究を基に展示活動や教育普及活動を行い、市民の愛郷心の育成に資することを目的とする。

- (1) 資料の収集、調査・研究
 - 川越地方に関係のある郷土資料を収集する。
- (2) 保存管理
 - 収集資料は分類整理し、収蔵庫等で保存管理し、保存の万全を図る。
- (3) 展示事業
 - 常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。
- (4) 教育普及事業
 - 市民の要望に添った各種講座・講演会を開催するとともに、学校教育・社会教育への協力援助を行う。



施 設 概 要

() は学芸員有資格者

所 在 地	電 話	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
			構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長	主査	事務職員	計
郭 町 2-30-1	222-5399	8,136.47㎡ 旧川越城 二の丸跡	鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階	3,985.97㎡	平成 元年度	1 (1)	1	2 (2)	10 (3)	14 (6)

博物館・蔵造り資料館・本丸御殿入館者数 (平成22年度)

施設名	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
博物館	有料	2,989	5,172	1,866	2,035	2,445	2,164	3,772	3,132	1,006	2,064	2,023	1,781	30,449
	無料	2,266	5,069	6,936	2,886	2,242	3,743	3,276	6,905	2,175	3,553	6,075	1,588	46,714
	計	5,255	10,241	8,802	4,921	4,687	5,907	7,048	10,037	3,181	5,617	8,098	3,369	77,163
蔵造り資料館	有料	4,211	6,797	3,829	3,072	2,797	3,536	5,234	5,275	1,730	2,577	2,263	1,464	42,785
	無料	1,044	2,781	5,150	1,369	683	2,909	1,961	4,632	2,124	1,006	2,842	814	27,315
	計	5,255	9,578	8,979	4,441	3,480	6,445	7,195	9,907	3,854	3,583	5,105	2,278	70,100
本丸御殿	有料												0	0
	無料												8,669	8,669
	計												8,669	8,669

※本丸御殿は、平成23年3月26日に再オープン。竣工記念として、3月31日まで無料公開。



子ども体験教室「あいぞめでハンカチ作り」の様子



平成22年度開館20周年記念特別展
「知恵伊豆信綱－松平信綱と川越藩政－」の展示風景

展 示 事 業（平成23年度）

名	称	開 催 期 間
第21回収蔵品展	「木工職人の道具と技」	平成23年 7月16日～9月19日
第36回企画展	「名主奥貫友山と寛保2年の大水害」	平成23年10月8日～11月23日
第22回	「むかしの勉強・むかしの遊び」展	平成24年 1月14日～3月4日
第37回企画展	「保岡勝也とその時代」（仮題）	平成24年 3月24日～5月13日

各 種 講 座（平成23年度）

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博物館歴史講座	① 7月10日・17日・24日	子ども体験教室	毎月第2・第3土曜日を中心に実施
	② 10月9日・16日・23日	子ども博物館教室	① 6月4日
	③ 1月15日・22日・29日		② 10月22日
	④ 2月12日・19日・26日		③ 2月25日
野外博物館教室	① 7月23日	夏休み子ども体験	① 7月28日
	② 10月15日	夏休み遊びの時間	② 8月3日
	③ 11月26日		③ 8月5日
	④ 1月8日		7月30日・31日
古文書講座	① 11月5日	土偶作り教室	1月28日
	② 11月13日・20日・27日	民俗芸能実演	11月3日

川越城本丸御殿・蔵造り資料館概要



川越城本丸御殿

所在地…郭町2-13-1（電話 224-6015）
敷地面積…2,178㎡
延床面積…802.06㎡
構造…木造平屋建
建築年度…嘉永元年（1848）



蔵造り資料館

所在地…幸町7-9（電話 225-4287）
敷地面積…674.19㎡
延床面積…322.57㎡
構造…土蔵造り2階建
建築年度…明治26年（1893）

川越城本丸御殿保存修理工事

川越城は長禄元年（1457）、扇谷上杉持朝の命により、太田道真・道灌父子らによって築かれた城である。城域は武蔵野台地の一部である川越台地の東北端に位置し、東に荒川の沖積地、北と南に小支谷を擁する天然の要害に占地されている。当初の縄張りは現在の本丸周辺部のみと推測されるが、後北条氏支配時代に改修され、江戸時代前期にさらに拡張されて明治に至る。

本丸御殿は江戸時代前期の『江戸図屏風』（国立歴史民俗博物館蔵）に描かれたものが最も古い姿であるが、「川越御城」の本丸部分には瓦葺きと橡^{とち}葺きと考えられる数棟の建物と多くの人々が描かれている。人々の中には鷹を手に乗せた「鷹匠」と思われる者や獲物と思われる獣を担いだ者などが見られることから、この頃の本丸御殿は当時、度々川越地方に来訪した將軍の「御成御殿」であったと類推することができる。

江戸時代末の弘化3年（1846）、城主の居所のあった二の丸で火災が発生し、二の丸御殿が焼失した。そのため、再建の地を当時空地であった本丸に求め、嘉永元年（1848）、本丸御殿が竣工した。このときには全16棟、1,025坪の広大な御殿であった。

明治維新後、川越城の諸建物は順次解体されていった。本丸御殿は、明治4年に入間県庁としてその一部が使用されたため、玄関・大広間部分が残されることとなった。その後建物は入間郡公会所や煙草工場、修練道場、学校校舎・屋内運動場などに使用された。多くの人に親しまれた「武徳殿」という名称は、昭和8年にこの建物が川越地方武道奨励会の修練道場として「初雁武徳殿」になったことによる。

昭和42年3月に埼玉県指定文化財に指定されると、同年7月から翌昭和43年2月にかけて大規模な解体修理工事を実施し、外観の整備と内部の復元がなされた。

その後30年以上が経過した時点で、建物の雨漏りなどが報告されたため、平成14年度に川越城本丸御殿損朽調査を実施した。その結果、内部の部材に腐朽が認められたため、保存修理工事を実施することになった。工事は埼玉県の補助を受けて、平成20年度から22年度にかけて実施された。

修理工事の内容は、建物の梁や柱などの構造体を残して解体し、その後修理を施して元の姿に復元する「半解体修理」という方法を採用した。建物の解体に際しては建物の変遷を考察するため、痕跡調査を併せて実施した。

今回の保存修理工事は、大きく以下の4点を中心に行った。

- ① 雨漏りの補修
- ② 建物の歪みの修正
- ③ 土壁の復元
- ④ 構造補強

雨漏りについては、以前からその発生が報告されており、雨水の屋根裏への浸入により、玄関部分などで梁の一部が腐朽していることが判明していた。工事は瓦を全て撤去し、葺き土や屋根下地、野地板を除去し、屋根を支える垂木を補修した後、屋根を葺き直した。解体前の屋根下地は昭和42年の修理において、サワラの薄板を重ねた「土居葺き」から「杉皮葺き」に替えられていたが、今回の保存修理工事では当初の土居葺きに近い杉



の薄板によるシートを使用し、重ねて防水シートを貼ることで雨漏り抑止とした。結果的に瓦は全て葺き直すことになり、約2万枚の瓦の破損を調査して再使用できるものを抽出し、不足した瓦の分を新製して葺いている。

一般的に、木造建築において建物の荷重は柱によって支えられているが、荷重は建物の部位によって異なるため、長い間には柱ごとに沈む「不同沈下」が発生する。不同沈下が起こると柱と柱を繋ぐ梁や桁が水平でなくなり、建物が歪み本来のバランスが保てなくなるため、さらなる沈下の進行や建物の強度の低下につながる。そのため、建物の歪みを修正し、健全な状態に戻すことで建物の持つ本来の強度を得ることができる。本丸御殿では北東隅と南西隅で約4cmの不同沈下が認められたため、その歪みを修正する工事を実施した。工事は柱を1本ずつジャッキアップし、建物の水平を調整したり、西側に傾いていた建物をワイヤーで引っ張り、柱を垂直にした。また、柱の接地部分の腐朽も建物の歪みの一因と考えられ、必要に応じて柱の下端部に「根継ぎ」を施すことで、歪みの修正の一環として実施している。

土壁の復元は、昭和42年の修理の際に石膏ボード下地などの建材が使用されていたため、伝統的な竹小舞による土壁の復元を行った。壁土は屋根の葺き土と新しい壁土を配合して、約4か月間熟成させて使用した。伝統的な土壁は建物の強度を増すためにも効果があり、地震の際の倒壊防止にも効果がある。

構造補強は、想定される大地震でも倒壊しない建物となるよう小屋裏や床下など見学者の見えないところに必要な補強材を設置した。小屋裏は垂直方向に木材、水平方向に金属製の補強材を取り付け、床下は欠失した貫を補足し、外周部に補強土台と呼ぶ新材を取り付けた。これにより、居室部分の土壁と併せて建物全体の補強となった。

保存修理工事による外観の大きな変更はないが、南西隅に接続する「明治棟」の改修を併せて実施したことや家老詰所への渡廊下の新築は変更点としてあげることができる。明治棟は、明治初期の入間県庁の頃に解体された城内の他の建物の部材を転用して建てられた建物で、部材を保管する目的から解体せずに残し、痕跡調査によって判明した間取りに復元した。渡廊下は雨水処理が不完全であったため解体して新築した。細かい部分では、不揃いであった軒丸瓦を「葵」文のものに統一するため、すべて新製したものを使用した点や南側の大棟の鬼瓦を北側の複製したものに載せ替えたことも挙げられる。

今回の保存修理工事は、本丸御殿が文化財建造物として将来に残る建物となるよう進めてきた。しかし、建物を末永く残すためには市民の方々に広く文化財に関する理解を得ることも重要である。博物館では今後、本丸御殿を活用した事業を展開することで、この本丸御殿に親しみを持たせ、希少な文化財建造物の重要性を啓発していきたい。



学 童 保 育

今日では、結婚観や価値観など個人の意識の変化とともに、女性の社会参加が進む中で育児と仕事を両立することへの負担感が増大している。また、核家族化や都市化の進展により、育児に親族や近隣の支援を受けにくくなっているため、母親の孤立や不安感が増大しているといわれている。

そこで、昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立32小学校に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(平成23.4.1現在)

保育室名	設置年度	建物面積(㎡)	所 在 地	電 話	指導員数	在 籍 人 数
川越第一	昭和55	139.0	郭町1-21 小学校内	224-4134	3	62
川 越	昭和54	159.0	郭町1-1-1 "	224-4755	6	67(3)
中 央	昭和54	127.0	中原町1-25 "	224-3999	3	34(3)
仙 波	昭和54	278.4	富士見町4-1 "	222-4877	4	78
武 蔵 野	昭和56	90.9	むさし野14-1 "	242-6132	4	67
新 宿	昭和57	220.5	新宿町6-9-1 "	242-6129	5	85(1)
大 塚	昭和49	149.2	南大塚1090-1 "	245-2552	5	49(4)
泉	昭和56	110.1	小室463 "	245-7232	3	62
月 越	昭和45	126.7	月吉町51 "	224-6656	4	40(4)
今 成	昭和53	106.4	今成2-42-1 "	225-3747	2	29
芳 野	平成 6	120.7	鴨田331 "	224-7976	3	45(1)
古 谷	昭和55	151.0	古谷上5465 "	235-4725	3	50
南 古 谷	昭和54	265.0	木野目1451 "	235-1863	8	100(5)
牛 子	昭和51	190.4	牛子418 "	246-0741	5	93
高 階	昭和54	254.0	砂新田58 "	244-6753	5	77(2)
高 階 南	昭和49	160.4	藤原町18-6 公 園 内	244-4667	5	55(4)
高 階 北	昭和50	209.5	砂新田1-16-1 小学校内	245-3906	8	67(11)
高 階 西	昭和54	130.0	藤間1102 "	244-6752	2	36
寺 尾	昭和52	125.4	寺尾979-2 "	246-0740	2	41
福 原	昭和58	123.2	今福508 "	246-0036	4	70
大 東 東	昭和52	124.6	豊田本1162 "	244-9783	4	54(1)
大 東 西	昭和50	132.5	山城32-5 "	246-8780	3	66
霞 ケ 関	昭和54	243.5	笠幡177 "	232-1328	8	93(7)
霞ケ関南	昭和50	222.9	かすみ野1-1-4 "	232-7070	2	19
霞ケ関北	昭和48	232.2	伊勢原町5-1-1 "	232-5253	4	85
霞ケ関東	昭和53	99.0	的場2735-2 "	232-7959	2	28
霞ケ関西	昭和52	122.0	笠幡3971-4 "	232-5508	3	50
川 越 西	昭和59	126.0	川鶴1-5 "	232-5601	3	63
名 細	昭和51	171.9	小堤214 "	232-4519	7	78(8)
上 戸	昭和51	134.0	上戸390-1 "	232-4518	3	45
広 谷	昭和56	126.0	下広谷558-1 "	233-4790	3	51
山 田	昭和54	165.0	山田167 "	222-4151	3	63
計					129	1,902(54)

() は障害児再掲

文化財保護

目標

川越市は、先人の努力により県内有数の歴史的遺産を受け継いでいる。これらの地域において保存・伝承されてきた歴史的建造物や史跡・天然記念物、伝統的な芸能や風俗習慣など、伝統文化を将来の世代に守り伝えるとともに、それら文化財の活用を積極的に推進する。

- 指定文化財の保存と活用に努める。
- 郷土芸能の保存・継承のため後継者の育成を図る。
- 開発等により破壊される遺跡の発掘調査を行い、記録保存する。
- 各種文化財の調査を進める。
- 国指定史跡である「河越館跡」の公有地化を進め、あわせて発掘調査を実施するとともに史跡公園としての整備事業を進める。

文化財の保存

1. 文化財保存補助事業

川越市には、国・県・市指定文化財等が250件あり、これらの保存を目的に補助金を支出している。

○平成22年度の支出件数

- 無形民俗文化財の後継者育成等 18件
- 建造物等の防災設備保守等 9件
- 有形文化財の保存修理、史跡・天然記念物の保存 15件
- 団体の育成 2件

2. 指定文化財の調査

平成22年度には、市の指定文化財候補として、十文字槍、木造隨身像、木造獅子狛犬の3件について調査し、市の指定文化財とした。その他の文化財調査としては、新河岸斎藤家・行伝寺及び川越商工会議所関係の文献調査を実施した。

3. 文化財防火訓練

毎年1月26日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼失を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目標としている。川越市でも、この日にあわせて文化財防火訓練を実施し、文化財保護の意識の高揚を図っており、喜多院・東照宮・日枝神社を会場として川越地区消防組合等と共催で、防火訓練を実施している。

4. 管理施設

施設名	所在地	敷地面積	構造	延床面積	建築年	指定年月日
山車集中保管庫	郭町2-25-12	1,071.80㎡	鉄筋コンクリート造	270.90㎡	昭和45年(1970)	
時の鐘	幸町15-7	52.89㎡	木造内部4層	20.66㎡	明治27年(1894)	昭和33年3月6日

施設名	所在地	敷地面積	整備年
国指定史跡河越館跡史跡公園	上戸192-1他	12,172㎡	平成21年(2009)
川越城中ノ門堀跡	郭町1-8-6	1,078.56㎡	平成22年(2010)

5. 文化財登録制度（登録文化財）

この登録制度は、指定制度を補完する制度である。保護対象の登録及び登録物件に関する届出制と、それに対する指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じる制度である。

なお、平成16年の法改正で、建造物以外の有形文化財と有形民俗文化財、記念物の登録制度が創設されている。

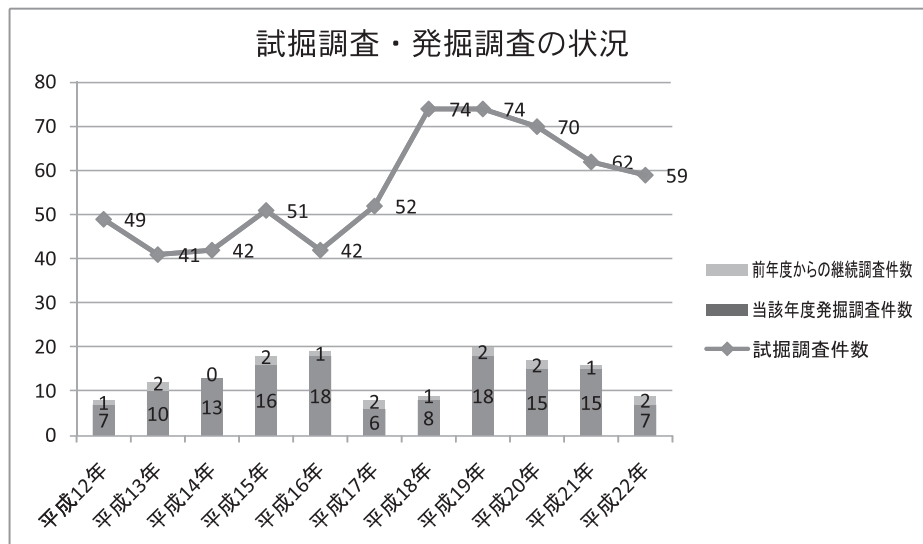
川越市内では、埼玉りそな銀行川越支店（旧八十五銀行本店本館）が、埼玉県では最初の登録有形文化財となったのをはじめ、旧山崎氏別邸庭園が登録記念物として文化財登録原簿に登録され、現在までに11件を数えている。

6. 埋蔵文化財

川越市内では、現在343ヶ所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは、国・県の指導のもと、詳細な分布調査を行い設定されたものである。こうした埋蔵文化財包蔵地の範囲内で開発行為を行う場合は、工事に先立って埋蔵文化財の存否を確認する試掘調査が必要である。平成22年度は、59件の試掘調査を実施した。試掘調査により、埋蔵文化財の存在が確認された場合、開発者との間で遺構の保存について協議し、どうしても破壊を免れないものについては、遺跡の姿を記録保存し、後世に伝えるための発掘調査を実施している。

平成22年度は9件（21年度からの継続2件を含む）の発掘調査を実施し、それぞれの調査で重要な成果が得られた。以下にその一部を紹介したい。浅間下遺跡第7次調査では、縄文時代早期から中世まで多数の遺構が検出された。特に弥生時代終末期の集落を囲む溝跡は、集落と合わせて環濠集落を形成すると考えられる。大手前遺跡第1次調査では、近世の屋敷地に関わる区画溝・地下室・井戸等が検出され、17世紀初期の志野・唐津など大量の陶磁器が出土した。山王脇遺跡第11次調査では、ほぼ同時期と考えられる住居跡19軒からなる奈良時代初期の集落を調査した。河越館跡史跡整備第15次調査では、河越氏が活躍した南北朝時代にまで遡る区画に使用された生垣の痕跡が検出され、さらに区画に伴う道路が戦国時代の上戸陣にまで影響を与えている様子が確認された。

以上のように、昨年度の調査では地域の歴史を物語る数々の遺構・遺物が出土している。



指定文化財一覧

（平成23年4月1日現在）

国 指 定 文 化 財			県 指 定 文 化 財			市 指 定 文 化 財		
種	別	件	種	別	件	種	別	件
重 要 文化財	建 造 物	4	有 形 文化財	建 造 物	9	有 形 文化財	建 造 物	47
	絵 画	2		絵 画	2		絵 画	1
	工 芸 品	4		彫 刻	2		彫 刻	12
	書籍・典籍・古文書	1		工 芸 品	3		工 芸 品	17
	無形民俗文化財	1		書籍・典籍・古文書	6		書籍・典籍・古文書	25
記念物	史 跡	1		考 古 資 料	1		考 古 資 料	7
指 定 文 化 財 計		13		歴 史 資 料	1		歴 史 資 料	5
			民 俗 文化財	有形民俗文化財	1	民 俗 文化財	有形民俗文化財	20
重要伝統的建造物群保存地区		1		無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	11
重 要 美 術 品		2		史 跡	3		史 跡	32
登 録 有 形 文 化 財		10		天 然 記 念 物	1		天 然 記 念 物	7
登 録 記 念 物		1	記念物	旧 跡	4			
計		27	計		39	計		184
総 計			250 件					

文化財の活用

1. 文化財説明板

指定文化財の内容を知ってもらうために年間数基ずつ説明板を現地に建てている。また、傷んだものの付け替えを順次進めている。

平成22年度は、的場小川家のツゲの説明板を設置した。

2. 関係団体との連携

文化財保護の意識の高揚、伝統芸能の保存育成を目的とし、埼玉県文化財保護協会、川越市文化財保護協会、各民俗芸能保存団体等と連携して、各事業の実施や援助を行っている。

3. 出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。文化財保護課の他に、一部出版物については市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。なお、書籍については有償にて頒布している。

出版物一覧

パンフレット	川越の歴史年表
	川越建物細見
	国指定史跡河越館跡
	川越市指定文化財時の鐘
	川越の祭りと芸能
	国指定史跡河越館跡史跡公園
書籍	川越城中ノ門堀跡
	川越市の文化財
	ハンドブック 川越の歴史
	川越の伝説
	続 川越の伝説
	川越の人物誌 第1集
	川越の人物誌 第2集
	川越の人物誌 第3集 女性編
	川越氷川祭りの山車行事調査報告書
	文化財案内マップ
	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
	元町二丁目井上家文書目録
	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
	川越の神社建築
	川越の寺院建築

新指定文化財

市指定文化財

○十文字槍（平成23年2月21日指定）

本作は、千鳥型の十文字槍である。中心まで含めた全長は58.8cm、身の長さは18cmと比較的小振りである。地金は小板目肌、こいためはだ 樋がかる。まさ はもん こにえ 刃文は小沸出来の中直刃。ちゅうすぐは 帽子は丸く返り、先、掃き掛ける。中心には化粧鏝を掛け、表に「大慶やすり荘司直胤たいけいしょうじなおね作之」、裏に「応川越藩安井政章需於武陽東叡山辺文化九年仲春」と刻む。作者である大慶直胤は水心子正秀・源清磨とともに江戸三作と賞された名工である。

この槍の注文主である安井政章は川越藩の郡奉行として領内の治水事業に尽力した人物である。こおり

よく民意を汲み、飢饉の際には年貢の減免を行ったとの逸話も残っている。また、宝蔵院流の槍術師範としても名高い。ほうぞういんりゅう

6寸という短い身長、十文字槍という形態は、宝蔵院流槍術おきての掟どおりであり、安井がこの槍の注文に当たり、直胤に細かな指示を与えていたことがわかり興味深い。

また、本作には、青貝螺鈿^{らでん}塗りの同時代の柄が附属する。華美に流れず、実戦的な外装であり、稽古によるためか著しく手ずれしていることも安井の人柄を示しているようで好ましい。

本品は大慶直胤という名工の作であるとともに、川越藩郡奉行安井政章の所持の品として川越市にとって大変貴重な資料である。

○東照宮 木造獅子狛犬像 1 対 (平成23年 2 月21日指定)

仙波東照宮は、元和元年(1616)に没した徳川家康を久能山から日光に移葬する際に喜多院に4日間逗留し供養したことから、寛永10年(1633)天海僧正により建立された。創建時の東照宮は、寛永15年(1638)1月の川越大火で焼失するが、家光の命で川越藩主堀田正盛が造営奉行となり寛永17年再建された。獅子狛犬像は、その東照宮の再建時に奉納されたもので、現在幣殿^{へいでん}に安置されている。本殿^{うんぎやう}に向かって右の口をあけた阿形が獅子、左の頭部に角があり口を閉じた吽形が狛犬である。

像高は、獅子が55.2センチ 狛犬が62.2センチで、いずれも框座・台座に乗るため、総高は、獅子像が96センチ、狛犬が約103.1センチある。

造りは、寄木造で、目が玉眼、表面は金泥彩される(元は朱漆地に漆箔。江戸後期にベンガラ地に金泥彩で補修か)。

たてがみ・脚部の房毛・尾には白土地に緑色、口内は赤色の彩色が施される。仏師は、『本朝大仏師正統系図并末流』から京都七条仏所の康音^{かうおん}であることがわかる。康音が所属した京都七条仏所は、先代の康猶^{かうゆう}以来、天海僧正の指名により上野東照宮、東叡山寛永寺、江戸城紅葉山東照宮等の造像事業に携わり、幕府御用仏師の地位を獲得していた。康音の作として現在知られるものとして、日光東照宮虚空蔵菩薩像、上野東照宮隨身像・五大尊像、京都長講堂後白河法皇像がある。

作風は、王朝時代の和様狛犬の伝統によりながら、鎌倉時代の精悍な迫力ある獅子狛犬の姿をみごとに再現しており、江戸時代の獅子狛犬としては出色の作品といえる。

本像は、仙波東照宮寛永17年(1640)の再建時の遺品の一つとして文化財的価値が高いと評価できる。



○東照宮 木造隨身像 2 軀 (平成23年 2 月21日)

仙波東照宮の隨身倚像は、隨身門に安置された老壮一対の木造である。隨身とは、平安時代以降、貴族の外出時に護衛として随従した近衛府の官人で、日光の陽明門にも同様な隨身像が祀られている。阿形が老隨身、吽形が壮年隨身で、ともに装束は武官束帯である。また冠をかぶり、綏^{おいかけ}を付け、有髯^{ゆうぜん}。上衣は闕腋袍^{けつてきのほう}、袴を付け、沓を履き、左手に弓、右手に箭を執り、背に鞆^{うづ}を負い框座の上の椅子に腰かけた姿をとる。像高は、老隨身像が94.8センチ、壮年隨身像が83.5センチ。框座を含めた総高は、老隨身像が115.3センチ、壮年隨身像が103.8センチある。造りは、寄木造、眼は玉眼、表面は白土地に彩色。

老隨身の袍は黒に銀灰色の蛸唐草輪文^{たこからくさ わもん}、壮年隨身の袍は朱に赤色の蛸唐草輪文。袴は白地に金の市松模様、木瓜紋を配す。椅子は虎皮の縞模様を左右側面に表す。框座は正面に緑地に三巴紋を一對配する。



仏師は、壮年隨身像の椅子の天板内側に「享保十九年甲寅八月 大仏師 采女 石見 利京」の墨書があったことから、享保19年(1734)に采女ほか2名(所属・姓は不明)により造立されたことがわかる。

享保19年は、川越藩主秋元喬房が2基の石燈籠を献燈していることから、その時期に隨身門に何らかの手が加えられた際に造立されたと推定される。

本像は、美術工芸的には形姿相整った江戸時代の典型的な隨身像であり、現状の保存状況や東照宮の歴史等から文化財的価値が高いと評価できる。

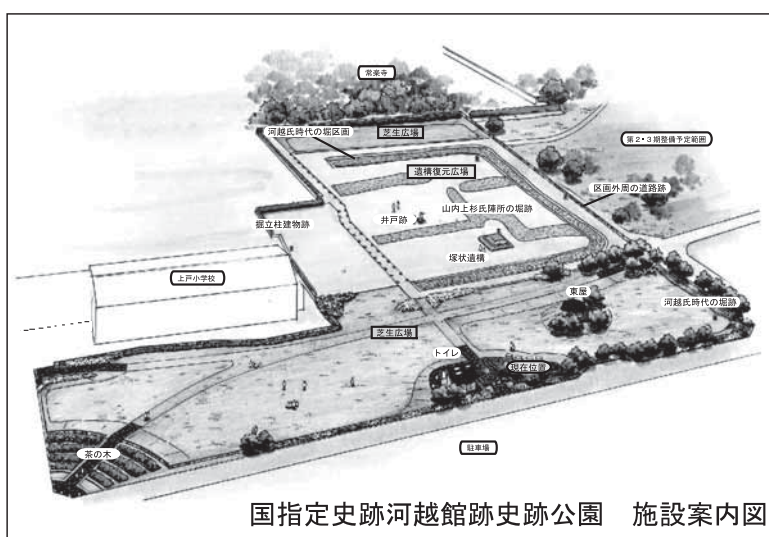
国指定史跡「河越館跡」

河越館跡は、入間川の左岸、上戸地区の常楽寺を中心とした地域に位置し、その指定区域面積は、48,509.18㎡である。当館跡は、鎌倉～南北朝時代に武蔵国で有力な武士であった河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の史跡として指定を受けている。

館跡の整備を進めるにあたって、川越市は昭和61年に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成12年度には、「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に沿って史跡整備事業を行っている。

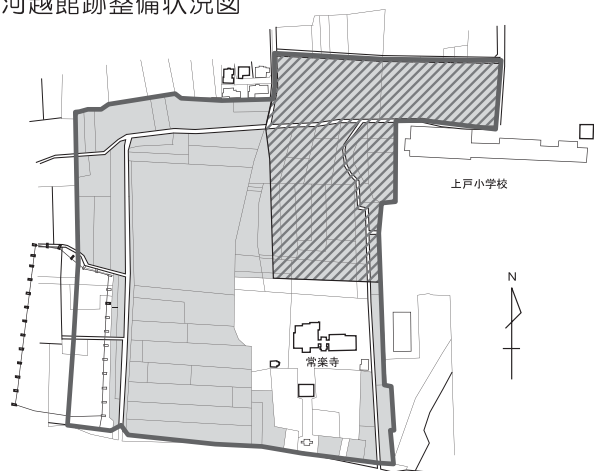
整備事業は、国・県の補助を受け、

土地の公有地化、遺跡確認発掘調査とその成果に基づく遺構・施設整備を実施している。土地は、公有地化予定面積の約93%（一部民有地を除く）を取得している。発掘調査は、今までに15回実施しており広大な史跡範囲を効率よく調査するため、学識経験者を中心とする調査指導委員会を設置して指導・助言を受けながら進めている。遺構・施設整備内容の検討は、歴史系だけでなく都市計画や造園など広い分野の研究者で構成している整備検討委員会によって進めており、平成17年度には「河越館跡史跡整備基本設計」を策定した。続いて、平成19年度には、遺構整備・施設整備についてより具体的に検討した「河越館跡（第1期）史跡整備実施設計」を策定した。なお、この「実施設計」を基本に河越館跡（第1期）史跡整備工事を平成19年度から平成21年度の3カ年で実施。平成21年11月15日「国指定史跡河越館跡史跡公園」として開園した。公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的としている。また、「史跡の広場」「茶太郎広場」のふたつにゾーニングされており、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を中心に復元したものとなっている。一方、「茶太郎広場」は、中世の銘茶「河越茶」と深い関係があったと考えられる河越氏に因んで生まれた史跡公園のイメージキャラクター「河越茶太郎」が元気よく遊ぶ姿をイメージし名付けられた。広々とした芝生の中にある東屋とともに憩いの空間として利用でき、様々なお茶の木についても楽しめる広場である。



平成22年度は、史跡河越館跡の歴史的意義や文化的価値を広く理解してもらうための活用事業としてのイベントや研修、学校への出前授業など実施した。平成23年度では、活用事業をさらに充実させていくとともに、継続実施してきた発掘調査の成果を反映させた次期整備へ向けての基礎資料について検討する。

河越館跡整備状況図



- 史跡範囲
- 土地公有地化範囲
- ▨ 国指定史跡河越館跡史跡公園（12,172㎡）

所 有 区 分	所 有 面 積
公 有 地	37,399.00㎡
常 楽 寺 所 有 地	5,477.18㎡
民 有 地	5,633.00㎡
計	48,509.18㎡



復元された堀



史跡公園の様子

資 料 編

教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課		
昭和33年 5 月	係の新設		
	総 務 課……	庶務係、経理係	
	学校教育課……	学務係、指導係	
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係	
昭和38年10月	保健体育課の新設		
	総 務 課……	庶務係、管理係	
	学校教育課……	学務係、指導係	
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係	
	保健体育課……	保健係、体育係	
昭和43年11月	学校給食企画課の新設		
	学校給食企画課……	調査企画係	
昭和44年 8 月	学校給食センターの設置		
	学校給食企画課の廃止		
昭和49年 7 月	社会教育課に 2 係新設		
	社会教育課……	同和教育係、文化財係	
昭和52年 8 月	学校給食課の新設		
	学校給食課……	庶務係、管理係	
昭和56年 8 月	総務課に 1 係新設		
	総 務 課……	施設係	
昭和58年 4 月	教育次長 2 人制となる		
平成元年 7 月	2 部 5 課12係となる		
	管 理 部……	総 務 課	庶務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係
	指 導 部……	学校教育課	学務係、指導係
		社会教育課	社会教育係、同和教育係、文化財係
		保健体育課	保健係、体育係、給食係
平成 6 年 4 月	2 部 6 課15係となる		
	管 理 部……	教育総務課	総務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
		保健体育課	保健係、社会体育係、給食係
	指 導 部……	学校教育課	学務係、指導係
		生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		文化財保護課	管理係、調査係
平成 9 年 4 月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として）		
	2 部 6 課14係となる		
平成11年 4 月	2 部 7 課17係となる		
	生涯学習部……	教育総務課	総務係、企画調整係
		教育財務課	管理係、財務係、学童保育係
		生涯学習課	生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		市民スポーツ課	スポーツ振興係、国体準備担当
		文化財保護課	管理係、伝建地区担当、調査係
	学校教育部……	学校管理課	学務係、教職員係
		教育指導課	指導係、保健係

平成13年 4 月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当
平成15年 4 月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4 月	生涯学習部に高階公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4 月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4 月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4 月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4 月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管

委員会等一覧

○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…平成23年 7 月16日～平成25年 7 月15日

○川越市就学支援委員会

委員…25人 任期…平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日

○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…平成21年10月 1 日～平成23年 9 月30日

○川越市人権教育推進協議会

委員…18人 任期…平成23年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日

○川越市小堤集会所運営委員会

委員…9人 任期…平成23年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日

○川越市公民館運営審議会

委員…24人 任期…平成23年 5 月16日～平成25年 5 月15日

○川越市コミュニティセンター運営審議会

委員…10人 任期…平成22年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日

○川越市文化財保護審議会

委員…12人 任期…平成23年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日

○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…平成22年 6 月 5 日～平成24年 6 月 4 日

○川越市立図書館協議会

委員…15人 任期…平成23年 1 月17日～平成25年 1 月16日

○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…15人 任期…平成21年 9 月 1 日～平成23年 8 月31日

歴代教育委員会委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
岸 憲 夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22
佐々木 文 蔵	S 30. 5. 1	S 31. 9. 30
竹 内 栄 吉	S 31. 10. 1	S 39. 9. 30
橋 村 尚 中	S 39. 10. 1	S 40. 8. 13
水 村 三 郎	S 40. 8. 13	S 42. 11. 30
内 田 秀 夫	S 42. 12. 1	S 44. 11. 30
佐々木 文 蔵	S 44. 12. 1	S 45. 10. 12
内 田 秀 夫	S 45. 11. 9	S 49. 4. 2
鈴 木 咸	S 49. 4. 3	S 49. 12. 20
鈴 木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7
水 村 三 郎	S 51. 4. 8	S 62. 1. 15
関 本 定 雄	S 62. 1. 16	H 8. 7. 27
采 澤 好 子	H 8. 10. 4	H 10. 10. 3
佐久間 勇 次	H 10. 10. 4	H 12. 9. 30
齊 藤 信 子	H 12. 10. 10	H 18. 12. 27
伊 藤 幾 造	H 19. 1. 5	H 21. 3. 31
星 野 明 徳	H 21. 4. 1	

歴代教育長

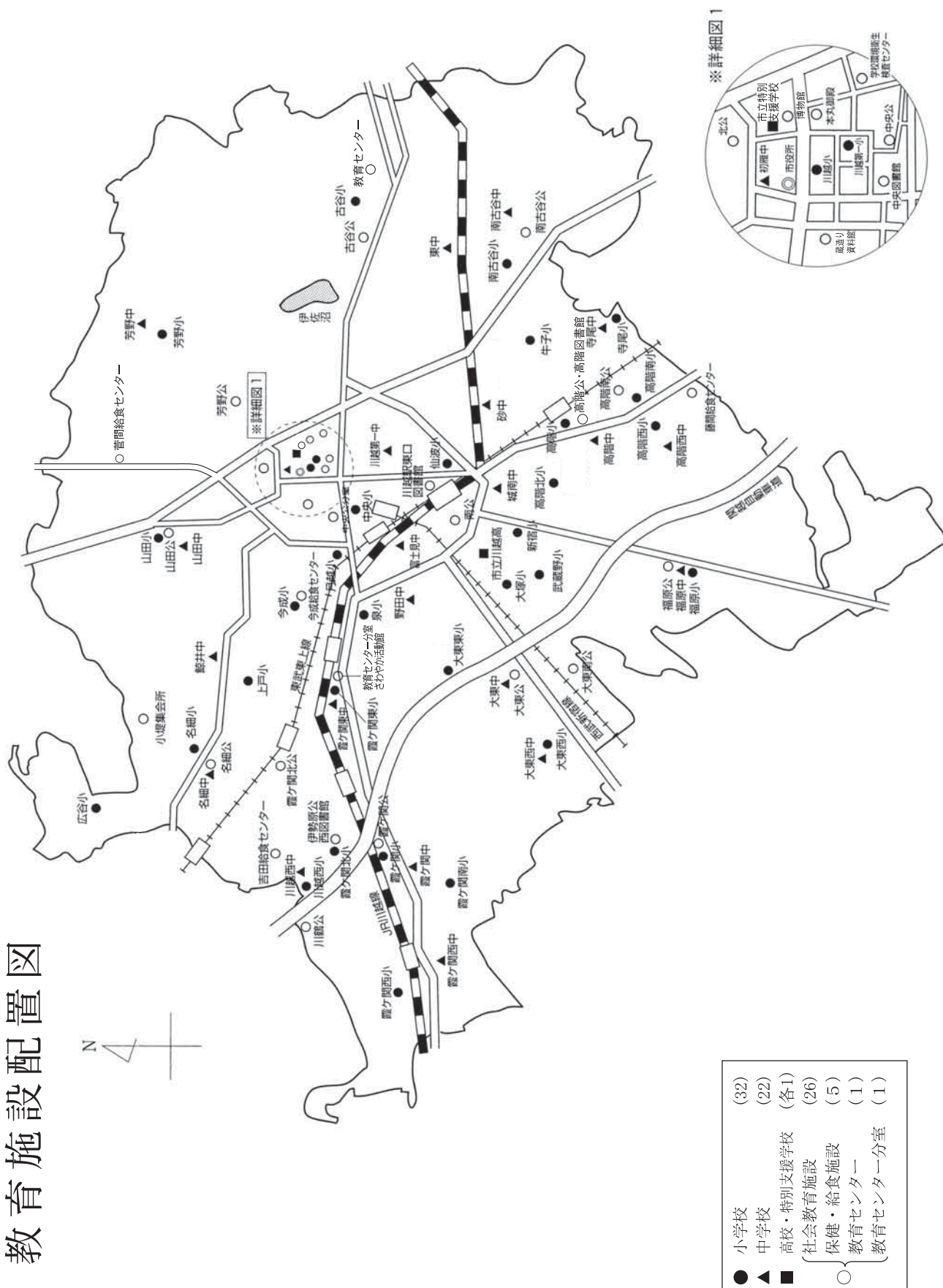
氏 名	就任年月日	退任年月日
江 原 四 郎	S 27. 11. 1	S 32. 9. 30
大 塚 仁之助	S 32. 10. 1	S 35. 9. 30
斎 藤 芳 一	S 35. 10. 1	S 51. 9. 30
斎 藤 芳 一	S 51. 10. 15	S 55. 10. 5
村 田 和 男	S 56. 4. 1	H 7. 3. 31
大久原 秀 雄	H 7. 4. 1	H 13. 3. 31
星 野 明 徳	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31
山 浦 秀 男	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31
新 井 孝 次	H 21. 4. 1	

歴代教育委員会委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
岸 憲夫	S 27. 10. 5	S 30. 4. 22	
佐々木文蔵	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
橋本 正代	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
青山 四郎	S 27. 10. 5	S 31. 9. 30	
西川 卯八	S 27. 10. 28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7. 14	〃
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
小林玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
加藤源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9. 30	〃
岸野仁太郎	S 30. 5. 19	S 31. 5. 28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5. 28	S 31. 9. 30	議会選出
竹内 栄吉	S 31. 10. 1	S 39. 9. 30	
仲 篤司	S 31. 10. 1	S 34. 9. 30	
橋村 尚中	S 31. 10. 1	S 40. 8. 13	
粕谷 武蔵	S 31. 10. 1	S 32. 9. 30	
粕谷 武蔵	S 32. 11. 9	S 36. 11. 8	
大塚仁之助	S 31. 10. 1	S 35. 9. 30	教育長
斎藤 芳一	S 35. 10. 1	S 51. 9. 30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口道之助	S 39. 12. 24	S 47. 12. 23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3. 31	
佐々木文蔵	S 41. 4. 7	S 45. 10. 12	
鈴木 咸	S 45. 12. 21	S 49. 12. 20	

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
岩田 正	S 47. 12. 28	S 55. 12. 27	
鈴木 咸	S 49. 12. 25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50. 12. 25	S 54. 12. 24	
斎藤 芳一	S 51. 10. 6	S 55. 10. 5	教育長
田中 賢司	S 52. 12. 24	S 53. 12. 24	
田中 賢司	S 53. 12. 27	H 6. 12. 26	
関本 定雄	S 55. 7. 28	H 8. 7. 27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6. 19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3. 31	教育長
大久原秀雄	H 5. 4. 1	H 13. 3. 31	教育長
采澤 好子	H 6. 12. 27	H 10. 12. 26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3. 31	
伊藤 幾造	H 8. 10. 1	H 21. 3. 31	
佐久間勇次	H 8. 10. 1	H 12. 9. 30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H 13. 3. 31	
齊藤 信子	H 10. 12. 28	H 18. 12. 27	
長澤 仁志	H 12. 10. 1	H 16. 9. 30	
長澤 仁志	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
深井 英男	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	
星野 明徳	H 13. 4. 1	H 17. 3. 31	教育長
臼倉喜美枝	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	
山浦 秀男	H 17. 4. 1	H 21. 3. 31	教育長
相馬 實	H 18. 12. 28	H 22. 12. 27	
星野 明徳	H 21. 4. 1		
長谷川 均	H 21. 4. 1		
後藤 佳子	H 21. 4. 1		
新井 孝次	H 21. 4. 1		教育長
梶川 牧子	H 22. 12. 28		

圖 置 配 設 施 育 教



川 越 市 の 教 育

平成23年 8 月

発 行 川 越 市 教 育 委 員 会

〒350-8601

埼玉県川越市元町1-3-1

TEL (049) 224-6074 (直通)



川越市マスコットキャラクター
ときも



古紙再生紙及び大豆油インクを使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。